

3. 市民等ニーズの把握

3-1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、市民の公共交通の利用実態や公共交通体系の整備に向けた意向を把握し、新しい公共交通システム検討の基礎資料とすることを目的に実施する。

公共交通に関する市民の意向調査としては、「糸満市新公共交通体系導入可能性調査（平成 19 年 3 月）」の中で全世帯対象の調査を実施している。その後、平成 20 年度よりブーゲンビレア号の運行が開始され、平成 23 年 4 月にはその利用実態調査も実施している。このような状況を踏まえ、以下の目的を持って 4 種類のアンケート調査を実施する。

1) 全世帯アンケート

「糸満市新公共交通体系導入可能性調査（平成 19 年 3 月）」の全世帯アンケート調査後、ブーゲンビレア号の運行が開始され、高齢者の外出支援や交通不便地域の改善により、公共交通に対する意向は変化していると考えられる。今回は、この全世帯アンケートをベースにして市民の利用実態や意向の変化を把握する。また、赤字バス路線に対する市民の意識と路線バスにおける各種サービスの認知度も合わせて調査し、新しい公共交通システム検討の基礎資料とする。

2) 高齢者アンケート（ブーゲンビレア号に関するアンケート）

平成 20 年度より運行が開始されたブーゲンビレア号については、利用者調査は行われたものの、その認知度や利用特性については把握できておらず、特に利用しない人の実態を把握し、利用増進を図る方策等の検討資料とすることを目的に高齢者アンケート調査を実施する。

3) 学生アンケート

市民のバス離れの原因としては、子どもの頃からバスに馴染みが無い事等も考えられる。糸満市の将来を担う子供達が、現在の路線バスに対してどのような意識や意向を持っているのかを把握し、公共交通を検討する参考資料とすることを目的に、小学生、中学生、高校生を対象にアンケート調査を実施する。

4) 観光客アンケート

これまで糸満市を訪れた観光客を対象とした市独自の調査は実施されていない。今後の公共交通の見直しにあたり、糸満市を訪れた観光客の特性を把握するとともに、観光客の公共交通利用の可能性について検討するため、観光客アンケートを実施する。

(2) 調査の方法及び回収率等

1) 全世帯アンケート

○調査対象者

- ・糸満市全世帯：19,652 世帯（広報誌配布世帯）

○調査票の配布・回収方法等

- ・自治連絡員による配布・回収
- ・調査期間：平成 24 年 11 月 5 日（月）～12 月 20 日（木）
- ・回収数、回収率

区 分	総 計	糸満地区	西崎地区	兼城地区	高嶺地区	三和地区
配布数	19,652 件	4,497 件	3,787 件	6,782 件	1,993 件	2,593 件
回収数	2,077 件	359 件	209 件	873 件	236 件	400 件
回収率	10.6%	8.0%	5.5%	12.9%	11.8%	15.4%

平成 24 年 12 月 20 日現在

2) 高齢者アンケート（ブーゲンビリア号に関するアンケート）

○調査対象者

- ・60 歳以上 約 800 人（老人クラブ連合会同好会、ミニデイサービスに参加している方）

○調査票の配布・回収方法等

- ・老人会及びミニデイサービス事業者による配布・回収
- ・回収数 504 件

3) 学生アンケート

○調査対象者

- ・糸満市内の各小学校の 6 年生の 1 組（一クラス）：272 人
- ・糸満市内の各中学校の 3 年生の 1 組（一クラス）：191 人
- ・糸満高等学校、沖縄水産高等学校、向陽高等学校の（一クラス）

○調査票の配布・回収方法等

- ・学校のホームルーム時に配布・回収
- ・小中学生 回収数 463 件（小学生 272 件、中学生 191 件）
- ・高校生 回収数 118 件

4) 観光客アンケート

○調査対象者

- ・琉球ガラス村、道の駅いとまん、糸満観光農園に訪れた観光客

○調査票の配布・回収方法等

- ・ヒアリング形式による簡易アンケート調査
- ・琉球ガラス村：27件 平成24年11月17日（土）
- ・道の駅いとまん：47件 平成24年12月9日（日）
- ・糸満観光農園：18件 平成24年12月16日（日）
- ・回収数合計：92件

全世帯アンケートのサンプル数と信頼性について

通常、アンケート調査の必要標本数（信頼できる回収件数）は、統計理論に基づき、以下の計算式により求められる。

$$\text{誤差}(\varepsilon) = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 100$$

N：母集団（調査対象者の総数）
 n：サンプル数
 k：信頼度係数=1.96
 （通常信頼度を95%とする）
 p：回答率=0.5
 ε：許容できる誤差の範囲（概ね5%以下）

今回の全世帯アンケートは、母集団である糸満市の世帯数 19,652 世帯に対して、サンプル数（n）が 2,077 件である。ある設問に対する回答率が 50%（割れる意見）である場合、最も誤差が大きいと考えられることから p を 0.5 と仮定すると、結果の誤差は **±2.0** である。

一般的には、許容できる誤差の範囲は概ね 5% 程度に納めることが、社会調査上望ましいと言われている。今回の調査は地区別にみると 5% を超える地区があるものの、糸満市全体では、5% 以内に収まっていることから、統計的にも妥当であると考えられる。

信頼性に関する計算結果

	市全体	糸満地区	西崎地区	兼城地区	高嶺地区	三和地区
N：世帯数	19,652	4,497	3,787	6,782	1,993	2,593
n：回数件数	2,077	359	209	873	236	400
k：信頼度係数	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96
p：回答率	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
ε：誤差	±2.0	±5.0	±6.6	±3.1	±6.0	±4.5

平成 24 年 12 月 20 日現在

自治会名【 】

⑬公共交通の利便性向上等に対するご意見があれば、ご自由にお書き下さい。

糸満市の公共交通に関するアンケート調査

平素から市民の皆様には、市政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

糸満市では、新たな公共交通体系の整備に向けた調査・検討を行っています。

調査・検討にあたっては、公共交通の利用者となる市民の皆さまの実態を把握し、今後アンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところ大変恐縮ではありますが、上記趣旨をご理解の上、本アンケート調査にご協力下さいませよう願います。

平成 24 年 11 月
糸満市企画開発部政策推進課

【アンケート票記入及び回収について】

- ◆アンケート票は本文書の内面にありますので、設問をよくお読みの上、ご回答下さい。
- ◆アンケート票の記入は、平成 24 年 11 月 9 日（金）までお願いいたします。
- ◆回収は、お住まいの地域の自治連絡員が行います。上記期日までにご記入いただけますようお願いいたします。

【アンケート票の取扱いについて】

- ◆回答していただいたアンケート票は、全ての方の回答を一括で統計的に処理し、個人の内容が明らかになることはありませんので、率直なご意見をお書き下さい。

問い合わせ先

本調査についてご質問がありましたら、下記までご連絡下さい。

糸満市企画開発部政策推進課 担当：喜納

電話：098-840-8122、FAX：098-840-8157



糸 満 市

調査票への記入は、なるべく高齢者や学生など、普段バス等の公共交通を必要とされている方をお願いいたします。(該当する方がいない場合は、世帯主の方が記入下さい。)

①あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 18歳未満 2. 18歳～59歳 3. 60歳～64歳 4. 65歳～74歳
5. 75歳以上

②あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 大学・専門学校生 4. 高校生 5. 中学生 6. 小学生
7. 主婦 8. パート 9. 無職 10. その他 ()

③あなたのご家族全体で自家用車、オートバイをそれぞれ何台保有していますか。また、ご家族の中でバス等の公共交通がないと困る人は何人いますか。具体的な数字をお書き下さい。

ご家族の人数 人 自家用車 台 オートバイ 台
バス等の公共交通がないと困る人 人

④普段外出する時間帯と帰宅する時間帯は次のどれにあてはまりますか。外出は○、帰宅は△をつけて下さい。

1. 午前7時以前 2. 午前7～9時 3. 午前9～12時 4. 午後12時～3時
5. 午後3～5時 6. 午後5～7時 7. 午後7～9時 8. 午後9時以降

⑤普段、どのような手段で移動していますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. バス等の公共交通で移動している
2. 民間送迎バス（フーゲンピリア号）*で移動している
3. 施設などの送迎バスで移動している（フーゲンピリア号以外）
4. 家族の送迎で移動している
5. 友人や近所の人に送迎してもらっている
6. 自由に移動できる手段がなく、移動の制約を受けている
7. その他 ()

※民間送迎バス（フーゲンピリア号）とは、65歳以上の糸満市民を対象に、糸満自動車学校、南部病院、西崎病院、ソフィアの事業所が運行している送迎バスの空席を利用した民間送迎バス（無料）のことです。

⑥上記で「バス等の公共交通で移動している」とされた方は、普段バスをどの程度利用していますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. ほぼ毎日 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1回
5. その他 ()

⑦「バス等の公共交通」を利用されていない方は、その理由としてあてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. 自家用車を利用の方が便利だから 2. 目的地に到着するまで時間がかかるから
3. 自家用車等よりも料金が高つくから 4. 自宅や目的地からの停留所が遠いから
5. バス路線が判りにくいから 6. 時刻表が判りにくいから
7. 乗りたい時間に走っていないから
8. その他 ()

⑧前問（質問⑦）の課題が解決できたらバス等の公共交通を利用しますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 利用する 2. 時々利用する 3. 利用しない
4. その他 ()

⑨バス会社が行っている以下のサービスを活用してバスを利用したいですか。

- あ バスロケーションシステム (リアルタイムで、停留所への到着予測時刻や目的地までの到着予測時刻、バスの現在位置などを携帯電話やパソコンで確認できるサービス)
い 日祝ファミリー割引 (大人(現金利用者)の利用者1人につき、小人(小学生)3人まで無料)
う 免許返納者割引制度 (免許返納者が運転経歴証明証を提示すれば、運賃半額)
1. 利用する 2. 時々利用する 3. 利用しない
4. その他 ()

⑩公共交通を利用してどのような場所に行きたいですか。あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. 病院 2. 市役所 3. スーパーなどの商業施設 4. 銀行、郵便局 5. 図書館
6. 公民館等の交流施設 7. 福祉施設 8. 小学校 9. 中学校 10. 高校
11. 大学、専門学校 12. 公園 13. 観光施設 14. その他 ()

⑪糸満市では、路線バスのうち赤字の4路線に対して補助金を投入し、路線バスを維持していることを知っていますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 知っている 2. 知らない

<参考>：平成23年度 路線バスに対する補助金額

路線名	糸満市補助金額	沖縄県補助金額	合計	一世帯当たり
国吉線	1,779千円	672千円	2,451千円	106円
南部循環線	14,798千円	6,076千円	20,874千円	904円
玉泉洞糸満線	9,107千円	0千円	9,107千円	394円
新里線	1,056千円	585千円	1,641千円	71円
合計	26,740千円	7,333千円	34,073千円	1,475円

※玉泉洞糸満線に対する県補助金は、別途バス運行会社に直接補助されています。
※1世帯当たり金額は、平成24年9月末住民登録世帯数23,088から求めています

⑫バス路線の将来を考える中で、あなたの意見を教えてください。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 公的支援（補助金）が多額でも、引き続き現在のバス路線を維持して欲しい
2. 国、県及び市の補助金以外に、自治会や地域がそれなりの負担をしても、現在のバス路線を維持して欲しい
3. 利用の少ないバス路線を廃止し、乗合いタクシーなどの市の経費の安い公共交通に見直しをして欲しい
4. 利用の少ないバス路線の廃止や減便は、仕方ない
5. わからない
6. その他 ()

<裏面に続く>

※現在お住まいの中学校区に○をつけて下さい。

1. 西崎中 2. 兼城中 3. 高嶺中 4. 三和中 5. 糸満中

ブーゲンビリア号に関するアンケート調査

①あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 60 歳～64 歳 2. 65 歳～74 歳 3. 75 歳以上

②あなたの健康状態について、あてはまるもの全てを選び○をつけて下さい。

1. 健康である 2. 足腰が弱い
3. 要介護認定を受けている 4. 身体障害者手帳をもっている
5. その他（ ）

③あなたは自動車と免許証をお持ちですか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 車と免許をもっている
2. 免許はあるが、車をもっていない
3. 車と免許をもっているが、運転しない（運転できない）
4. 免許を返納した
5. 以前から免許をもっていない

④糸満市では、65 歳以上の糸満市民を対象に、糸満自動車学校、南部病院、西崎病院、ソフィアの事業所が運行している送迎バスの空席を利用した民間送迎バス（無料）を運行していることを知っていますか。あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

1. 知っている（裏面⑥に連んでください） 2. 知らない（⑤に連んでください）

⑤民間送迎バス（ブーゲンビリア号）を「知らない」とされた方は、民間送迎バス（ブーゲンビリア号）を利用してみたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. 利用したい 2. 利用しない 3. わからない

＜裏面に続く＞

⑥民間送迎バス（ブーゲンビリア号）を「知っている」とされた方は、民間送迎バス（ブーゲンビリア号）をどの程度利用していますか。あてはまるものを1つ選び○をつけて下さい。

1. ほぼ毎日 2. 週2～3回 3. 週1回
4. 月1回 5. ほとんど乗ったことがない 6. 乗ったことがない
7. その他（ ）

⑦民間送迎バス（ブーゲンビリア号）を「月1回」、「ほとんど乗ったことがない」、「乗ったことがない」とされた方は、その理由としてあてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. あまり外出しない 2. 乗り場が遠い
3. 路線設定が悪い 4. 運行本数が少ない
5. 目的地まで時間がかかる 6. 乗りたい時間に走っていない
7. 路線や時刻表などの情報が不足している
8. 自分で運転する自動車等で移動する
9. 家族や近所の人に送迎してもらう
10. 徒歩や自転車等で移動する
11. 公共交通機関（バス・タクシー等）を利用するから
12. その他（ ）

⑧公共交通の利便性向上等に対するご意見があれば、ご自由にお書き下さい。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

【学校】

糸満市の公共交通に関するアンケート調査

①あなたの家の近く※に、路線バスのバス停はありますか？

1. ある 2. ない 3. わからない

※①「近く」とは、感覚で答えていただいて結構ですが、およそ500m以内を目安にお願いします。

② 5 だんの生活で、路線バスを利用することはありますか？

1. ほぼ毎日
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1回
5. ほとんど乗ったことがない
6. 乗ったことがない

③「月1回」、「ほとんど乗ったことがない」、「乗ったことがない」と答えた人は、その理由を教えてください。(該当する項目すべてに○をつけてください。)

1. 乗り方が分からないから
2. 学校に近いから
3. 乗りたい時間にバスが運行されていないから
4. バス代がもったいないから
5. バスを利用する必要がないから（両親が送り迎えをしてくれるから など）
6. その他（ ）

④ 「ほぼ毎日」、「週2～3回」、「週1回」利用すると答えた人はバスを利用してどちらに行きますか。（該当する項目すべてに○をつけてください。）

1. 学校への登校
2. 学校からの下校
3. 塾・習い事など
4. 遊び・買い物
5. その他（ ）

⑤今後、路線バスに乗ってみたいと思いますか？

1. 乗ってみたいと思う
2. 乗ってみたいと思わない
3. わからない

＜うら面に続＞＜

⑥あなたが乗りたくなるバスはどのようなバスですか？ ご自由にお書き下さい。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

【○○○高等学校】

糸満市の公共交通に関するアンケート調査

①どこから通学していますか？

1. 糸満市内 2. 豊見城市 3. 八重瀬町 4. 南風原町
5. 南城市 6. 与那原町 7. 那覇市 8. それ以外()

②普段の通学手段は、何を利用していますか？

1. 徒歩 2. バス 3. 自転車 4. 家族の送迎
5. その他()

③おおよその通学時間は？

1. 30分以内
2. 1時間以内
3. 2時間以内
4. 2時間以上

④通学にはバスを利用します。バスを利用する理由は何ですか。(該当する項目すべてに○をつけてください。)

1. 近くにハス亭があるから
2. 体が楽だから
3. 経済的だから
4. 送り迎えがないから
5. その他（ ）

⑤通学パスを利用しない方にお聞きします。パスを利用しない理由は何ですか。(該当する項目すべてに○をつけてください。)

1. バスに乗るのが面倒だから
2. バス停が遠いから
3. 乗りたい時間にバスが運行されていないから
4. バス代がもったいないから
5. バスを利用する必要がないから（家族等が送り迎えをしてくれるから など）
6. その他（ ）

⑥通学以外にバスに乗っていますか？（該当する項目すべてに○をつけてください。）

1. 塾・習い事など
2. 遊び・買い物
3. その他（ ）

⑦あなたが路線バスに望むものは何ですか？ 意見をご自由にお書きください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

＜うら面に続＞

糸満市公共交通に関するアンケート調査（観光客用）

① 現在のあなたの住まいを教えてください。

（ ）都・道・府・県

② あなたの年齢層を教えてください。

1. 18歳未満 2. 18歳～59歳 3. 60歳～64歳 4. 65歳～74歳
5. 75歳以上

③ 今回の旅行は、どのような旅行形態ですか。

1. 個人旅行 2. フリープランのパッケージ旅行 3. 観光付きのパッケージ旅行
4. 団体旅行 5. その他（ ）

④ 沖縄本島での主な移動交通手段は、何を利用されていますか？【複数回答可】

1. レンタカー 2. レンタルバイク 3. タクシー 4. 友人・知人の車
5. 路線バス 6. モノレール 7. 定期観光バス 8. 貸切バス
9. 徒歩 9. その他（ ）

⑤ 質問④で沖縄本島の観光に車等（1. レンタカー、2. レンタルバイク、3. タクシー、4. 友人・知人の車）を利用するとお答え頂いた方に質問です。車等を利用される理由は何ですか？

1. あちこち回るのに便利だから 2. 他の交通機関と比べ、早く着くから
3. 時間を気にする必要がないから 4. 他の交通手段が不便だから
5. 他の交通手段は判りにくいから 6. その他（ ）

⑥ 沖縄本島の観光に車（1. レンタカー、2. レンタルバイク、3. タクシー、4. 友人・知人の車）を利用しないとお答え頂いた方に質問です。車等を利用しない理由は何ですか？

1. 免許がないから 2. レンタカー等に比べ値段が安いから
3. 身体的に楽だから 4. 時間が読めるから
5. 環境に優しいから 6. その他（ ）

⑦ 今回の観光で「既に行った糸満市内の観光地」、「これから行く糸満市内の観光地」を教えてください。【複数回答可】

1. 平和祈念公園/沖縄県平和祈念資料館 2. ひめゆりの塔/ひめゆり平和記念資料館
3. 道の駅いとまん 4. 糸満市中央市場 5. 美々(びび)ビーチいとまん
6. 琉球ガラス村 7. 糸満市観光農園 7. その他（ ）

⑧ 前問（質問⑦）の観光地を通過するバス等の公共交通機関があれば、公共交通機関を利用したいと思いますか。

1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない

⑨ その他、今回の旅行において、交通面での不便な点やご要望などがあれば教えてください。

--

3-2. 調査結果

①交通弱者の存在について

「公共交通がないと困る人」は、西崎地区が 19%と最も多く、次いで三和地区が 16%とである。また、普段の移動において「自由に移動できる手段がなく、移動の制約をうけている」割合は、高嶺地区では7%と最も高く、市全体では3%である。

⇒市全体として交通弱者となっている方の割合は3%程度であるものの、公共交通空白地域や交通不便地域となっている地区が一部存在する。

②路線バスの利用について

普段の移動において、「バス等の公共交通で移動している」人は12%であり、平成18年の17%から減少傾向にある。そのうち、日常的に利用（週に1回以上）している割合は、18歳未満の学生や高齢者を中心に78%である。

⇒路線バスの利用は減少傾向にあるが、路線バス利用者の多くが日常的に利用（週に1回以上）しており、市民の重要な交通手段となっている。

③ブーゲンビレア号について

高齢者の67%の方がブーゲンビレア号を「知っている」と回答しており、そのうちの2割が、日常的に利用（週に1回以上）していると回答している。また、ブーゲンビレア号の利用実態アンケートでは、41%の方が外出機会が増えたと回答している。

「公共交通がないと困る人」の割合は12%と、平成18年度の16%と比較し、4%減少している。（平成20年よりブーゲンビレア号が運行開始）

⇒ブーゲンビレア号の運行により、高齢者の交通手段の確保と交通弱者の減少につながったと考えられる。

④公共交通の経由地について

公共交通を利用して行きたい場所は、「病院」が37%と最も多く、「スーパーなどの商業施設」34%、「観光施設」23%と続いている。

⇒「病院」は各施設送迎バスにより、交通手段は一定確保されている。今後、路線バスルートの変更などにより「商業施設」や「観光施設」を経由する公共交通が望まれている。

⑤公共交通の維持について

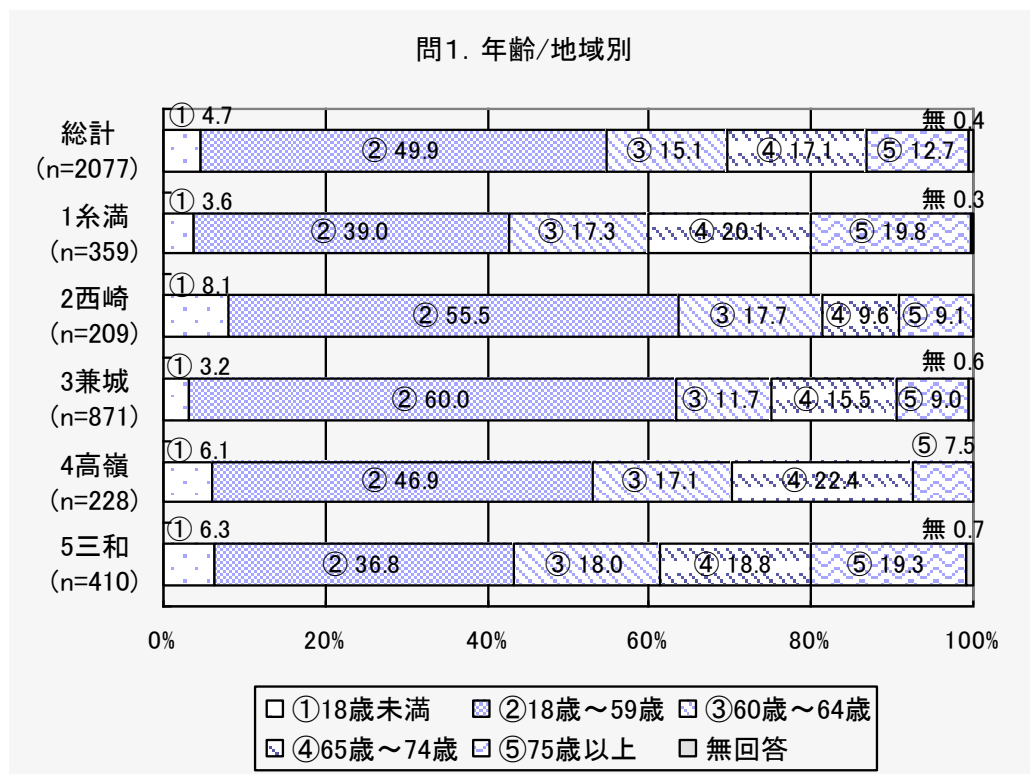
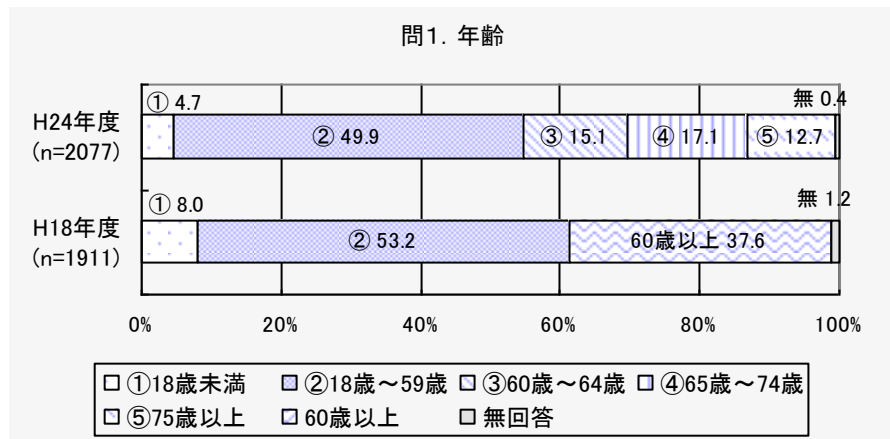
バス路線の将来に対する意向は、「わからない」が23%と最も高く、次いで「公的支援（補助金）が多額でも、引き続き現在のバス路線を維持して欲しい」22%となっている。「既存路線を維持（29.0%）」を支持する回答よりも「公共交通の見直し（37.1%）」を支持する回答が多い。

⇒公共交通機関の維持に向けては、より効率的な公共交通であるとともに、新たな需要（顧客）の掘り起こし、利用者意向に沿った経由地の見直し等が必要である。

(1) 全世帯アンケート

1) 年 齢

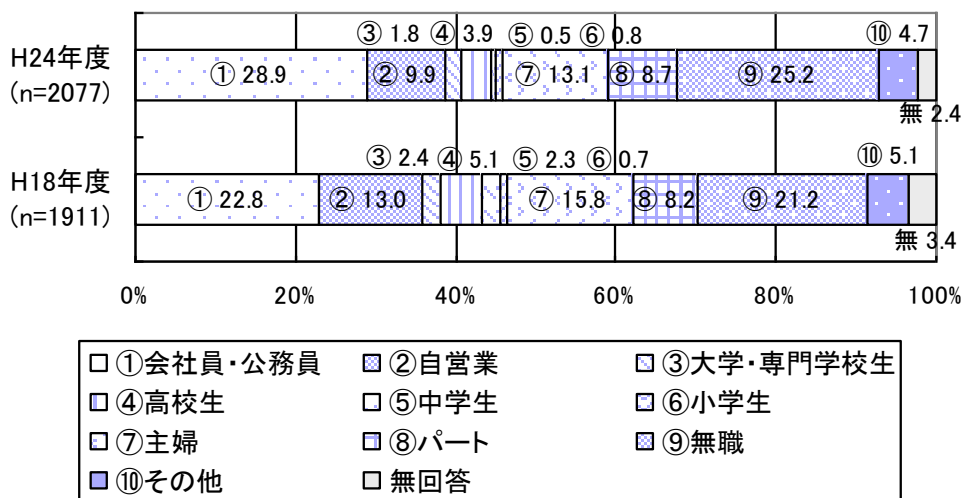
- ・ 年齢は、「②18歳～59歳」が49.9%と最も多い。次いで「④65歳～74歳」が17.1%である。また、60歳以上の割合は全体の45.3%を占めている。
- ・ 地区別にみると、「糸満地区」「三和地区」において、60歳以上の割合が約6割と他の地域よりも割合が高い。



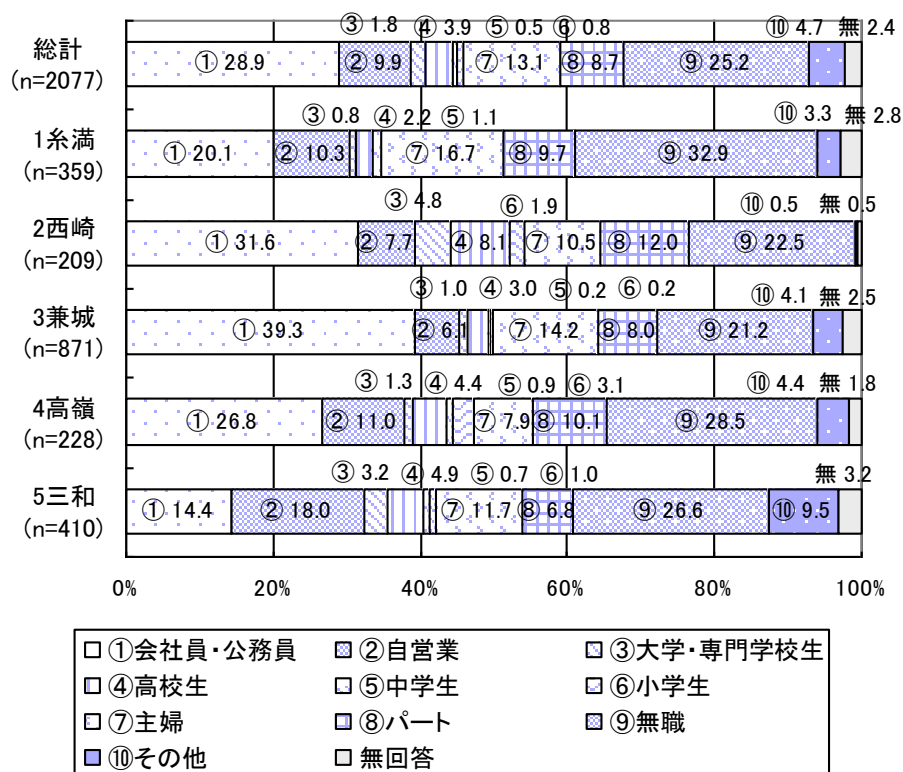
2) 職業

- 回答者の職業で最も多いのが「①会社員・公務員」で28.9%「②自営業」9.9%、「⑧パート」8.7%を含む職場を持って働く回答者が47.5%とほぼ半数を占めている。また、「⑨無職」が25.2%と2番目に多い。
- 地区別にみると、「兼城地区」では「①会社員・公務員」が39.3%と他地区に比べ割合が高い。また、「糸満地区」では「⑨無職」が32.9%と他地区に比べ割合が高い。

問2. 職業

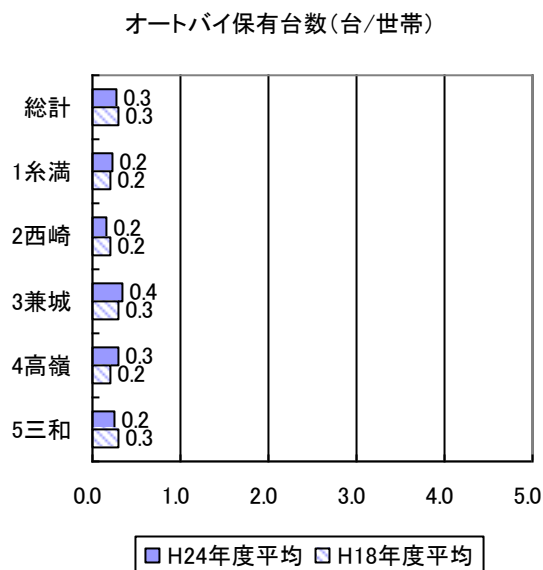
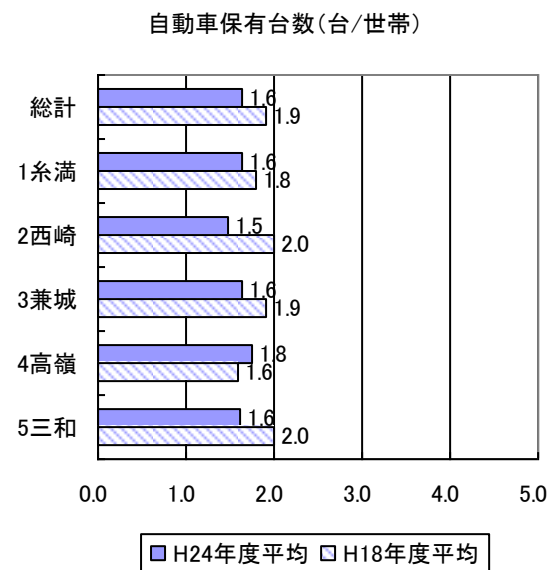
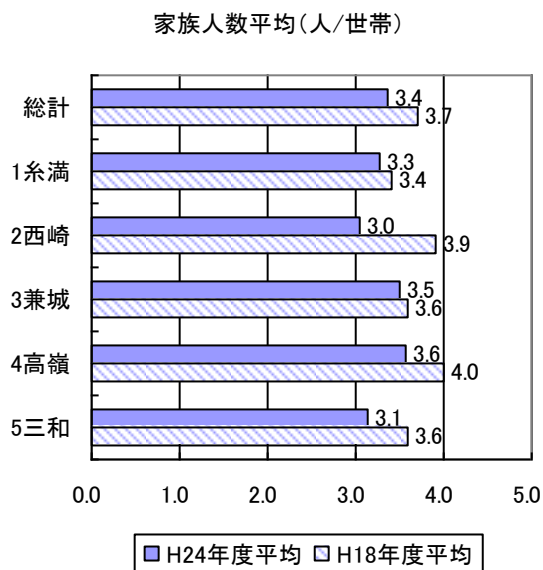


問2. 職業/地域別



3) 家族人数、自動車等保有台数

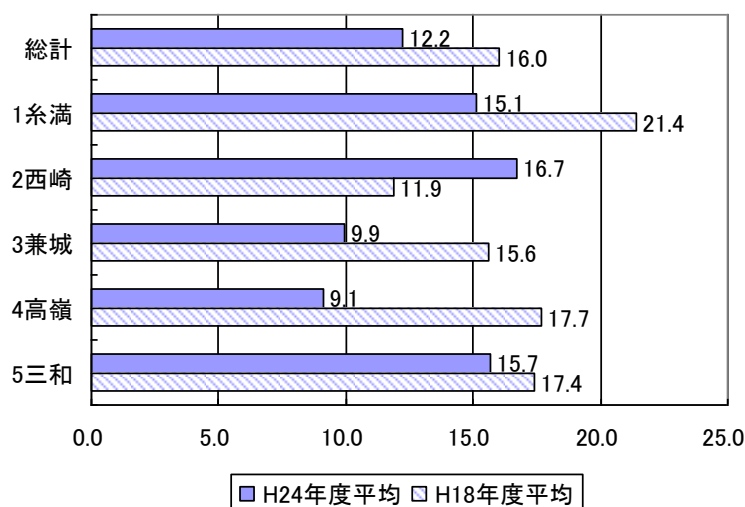
- ・ 家族の人数は、「高嶺地区」が3.6人/世帯と最も多い。また、平成18年度調査と比較し全地区で家族人数は減少している。
- ・ 自動車保有台数は、市平均1.6台/世帯である。また、平成18年度調査と比較し、高嶺地区を除く全地区で自動車保有台数は減少している。
- ・ オートバイの保有台数は、市平均0.3台/世帯となっている。



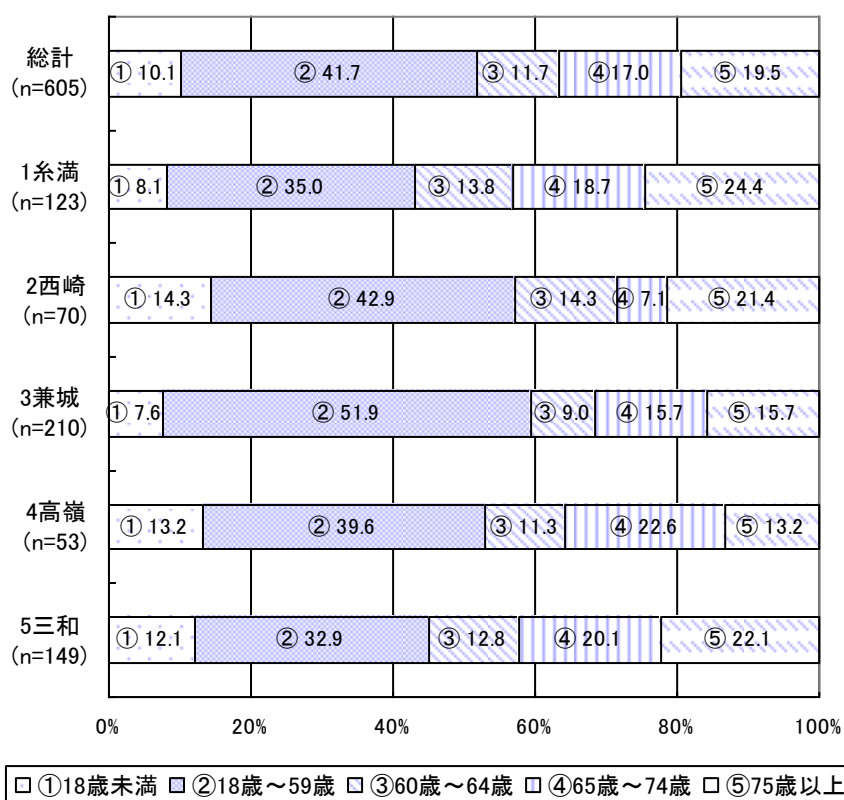
4) 公共交通がないと困る人の数

- 公共交通がないと困る人の数は、市平均で 12.2%である。H18 年度調査と比べ 3.8%減少している。
- 地区別にみると、「西崎地区」が 16.7%と最も多い。次いで、「三和地区」が 15.7%、「糸満地区」が 15.1%となっている。また、「西崎地区」は H18 年度調査と比べ公共交通がないと困る人が 4.8%増加している。

公共交通がないと困る人(困る人/家族人数)



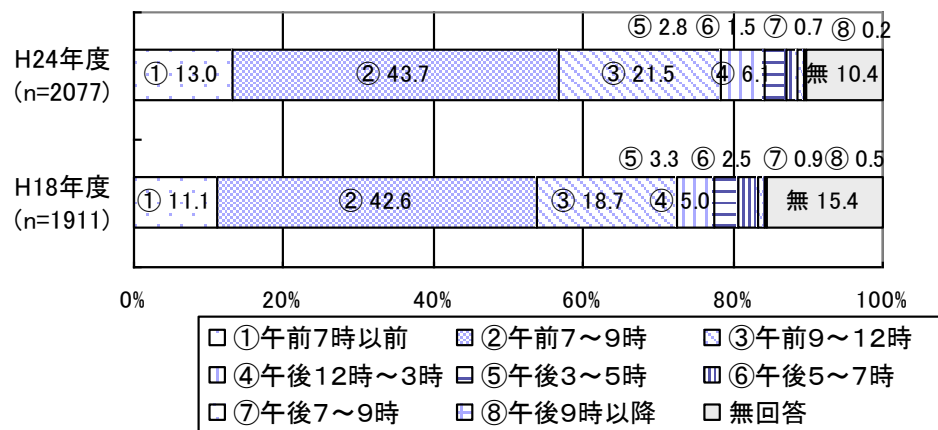
公共交通がないと困る人/年齢



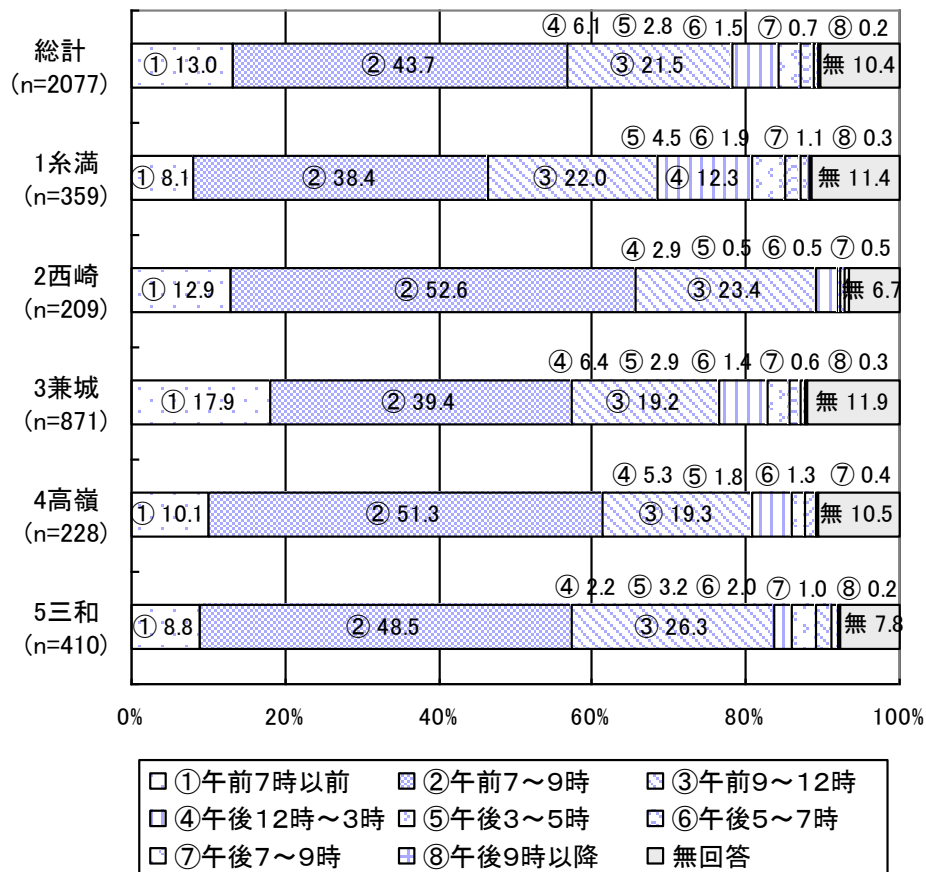
5) 普段、外出する時間帯

- ・ 外出時間帯は、「②午前7～9時」が43.7%と最も多い。「①午前7時以前」13.0%、「③午前9～12時」21.5%を含む、午前中が全体の78.2%を占めている。
- ・ 地区別にみると、全地区で「②午前7～9時」が最も多い。
- ・ 年代別にみると、「18歳未満」「18歳～59歳」「60歳～64歳」では「午前7～9時」の割合が高く、「65歳～74歳」「75歳以上」では「③午前9～12時」の割合が高い。

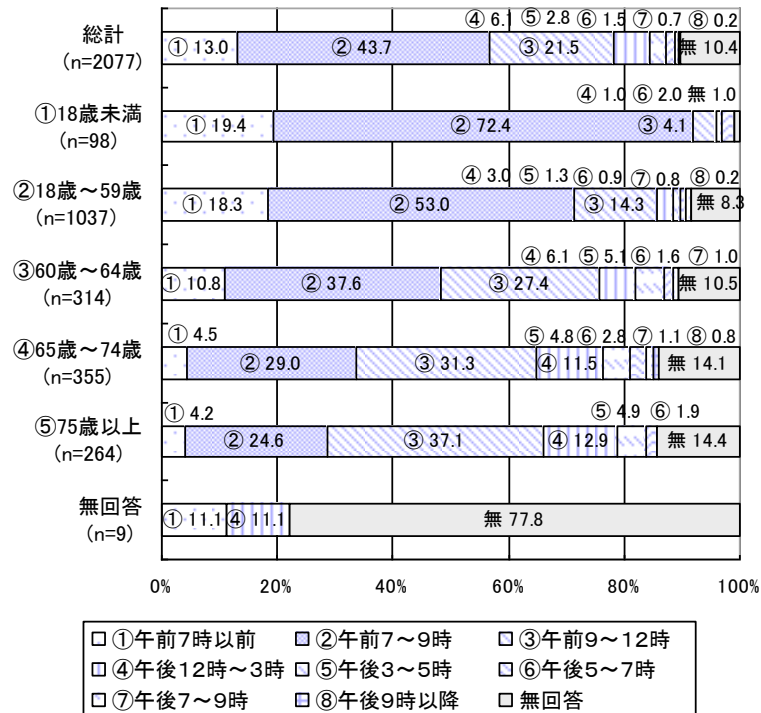
問4. 外出する時間帯



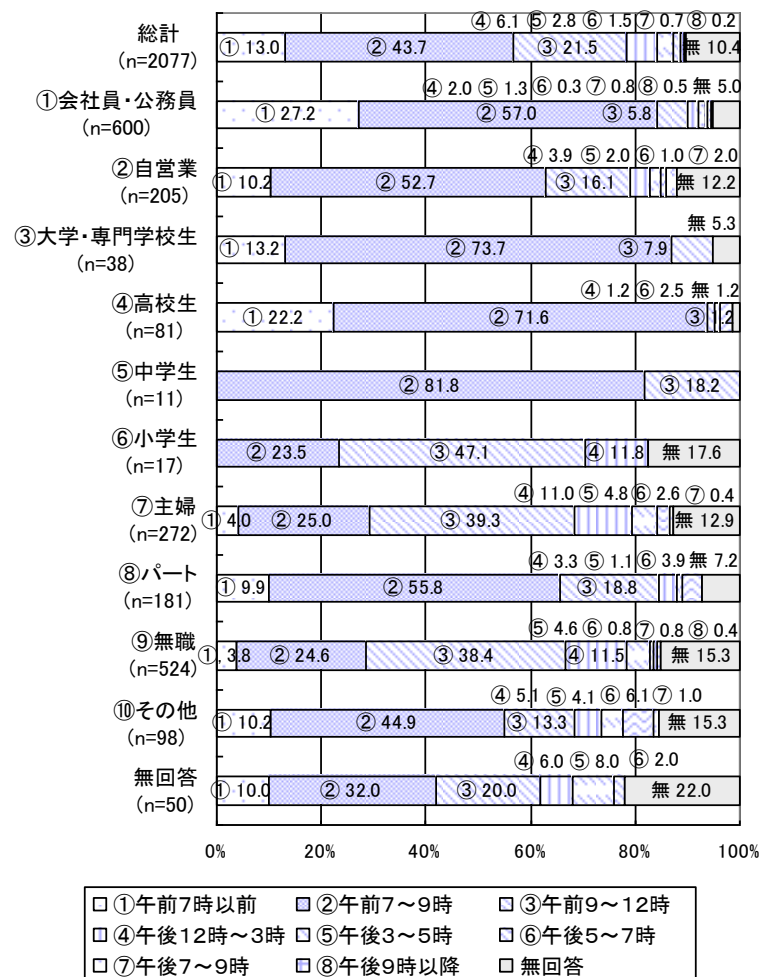
問4. 外出する時間帯/地域別



問4. 外出する時間帯/年齢別



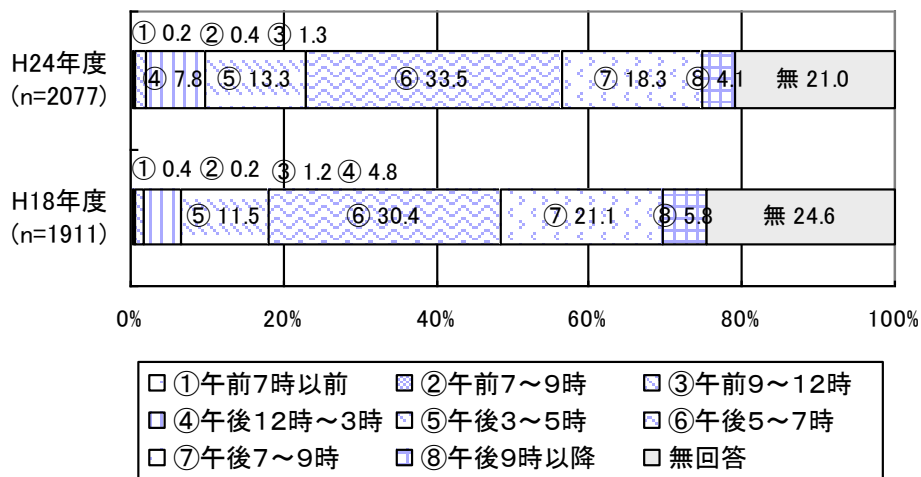
問4. 外出する時間帯/職業別



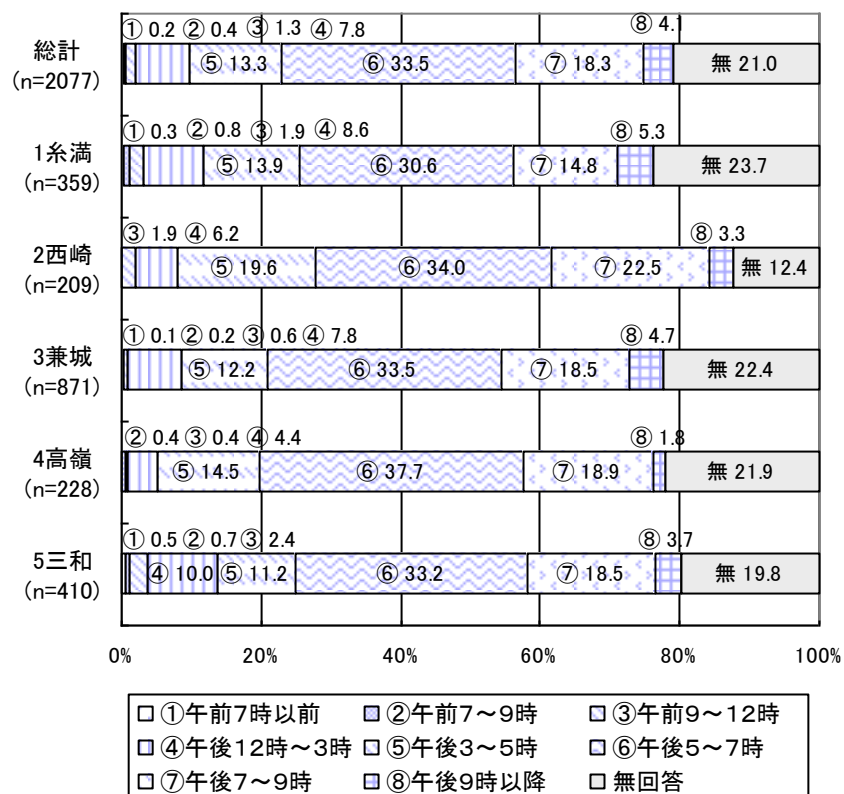
6) 普段、帰宅する時間帯

- ・ 帰宅時間帯は、「⑥午後 5～7 時」が 33.5%と最も多い。次いで「⑦午後 7～9 時」が 18.3%、「⑤午後 3～5 時」が 13.3%となっている。
- ・ 地区別にみると、全ての地区で「⑥午後 5～7 時」が最も多い。
- ・ 年代別にみると、「75 歳以上」を除き、その他の年代では「⑥午後 5～7 時」が最も多い。

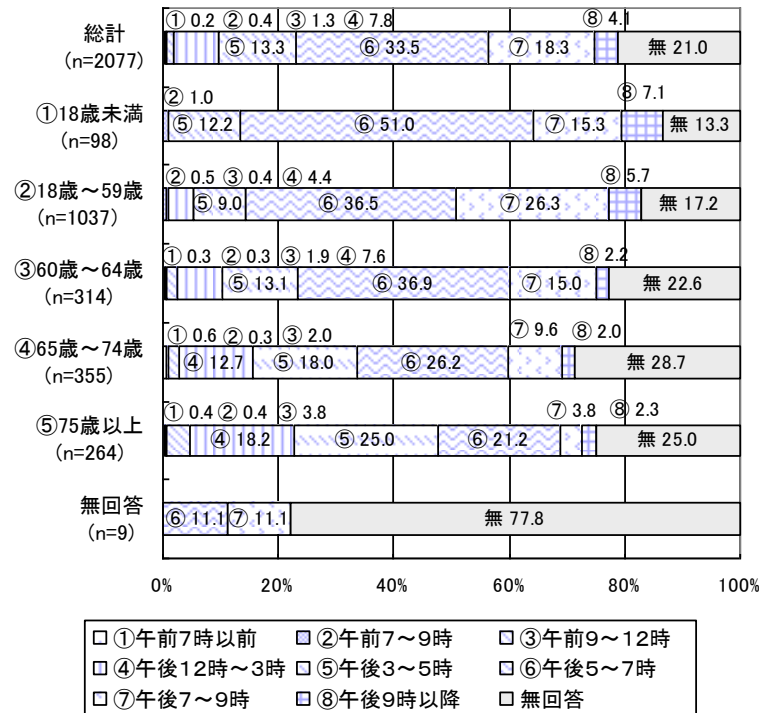
問4. 帰宅する時間帯



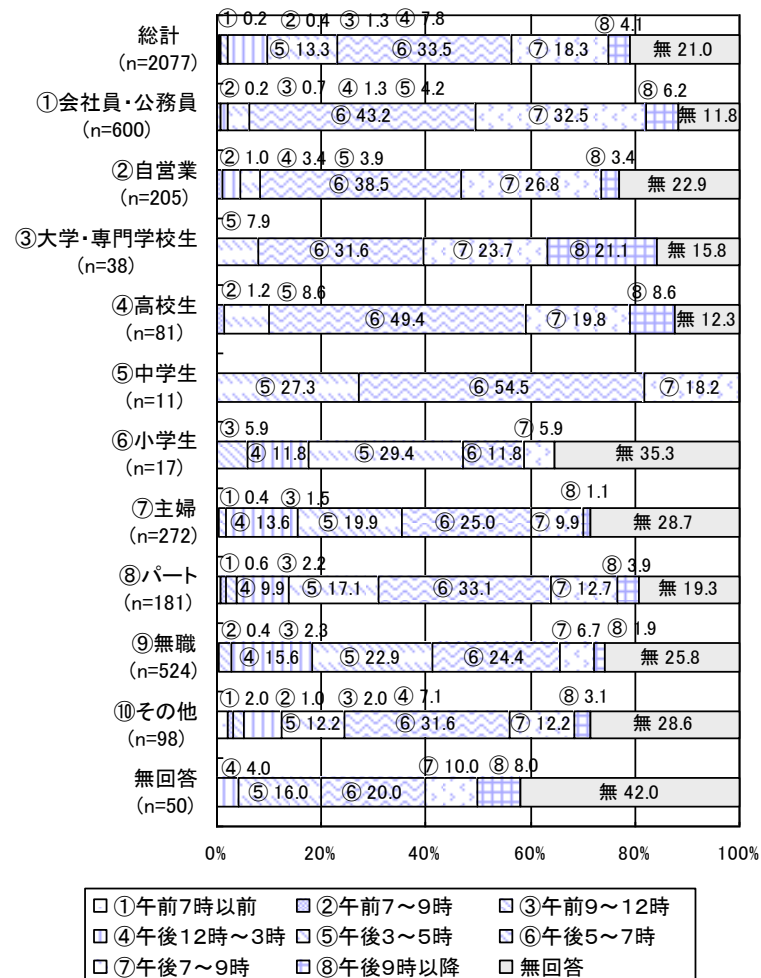
問4. 帰宅する時間帯/地域別



問4. 帰宅する時間帯/年齢別



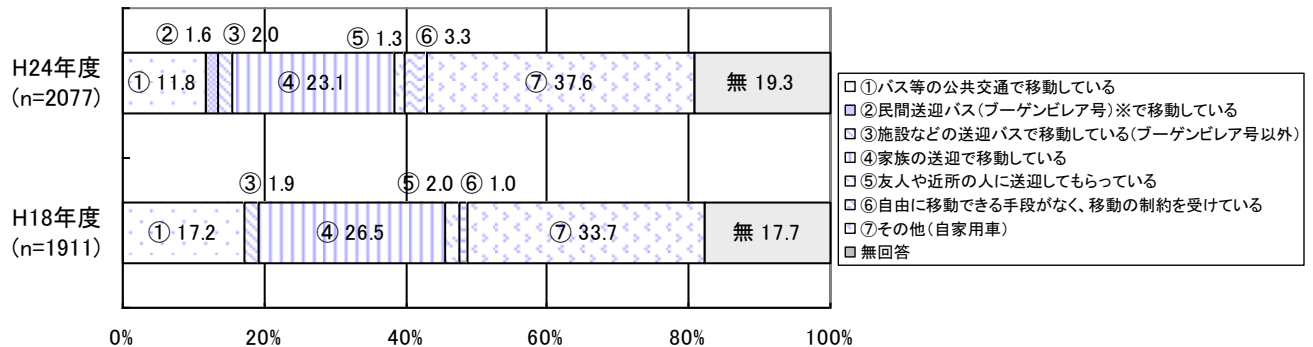
問4. 帰宅する時間帯/職業別



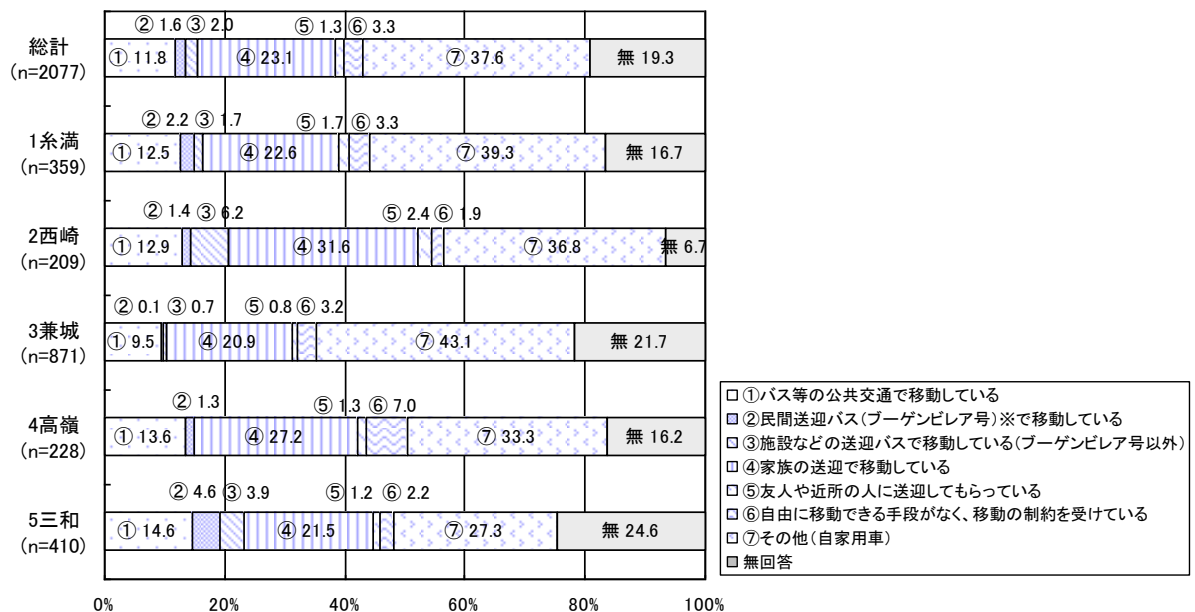
7) 普段の移動手段

- 普段の移動手段は、「⑦その他（自家用車）」が 37.6%と最も多い。次いで「④家族の送迎で移動している」が 23.1%、「①バス等の公共交通で移動している」が 11.8%となっている。また、「⑥自由に移動できる手段がなく、移動の制約を受けている」は 3.3%となっている。
- 地区別にみると、「①バス等の公共交通で移動している」は、「三和地区」で 14.6%と最も高く、次いで「高嶺地区」が 13.6%、「西崎地区」が 12.9%となっている。また「⑥自由に移動できる手段がなく、移動の制約を受けている」は「高嶺地区」が 7.0%と他地区に比べ割合が高い。
- 年代別にみると、「①バス等の公共交通で移動している」は「18 歳未満」が 38.8%と最も高い。また、「⑥自由に移動できる手段がなく、移動の制約を受けている」は、「60 歳～64 歳」が 4.5%と最も高い。

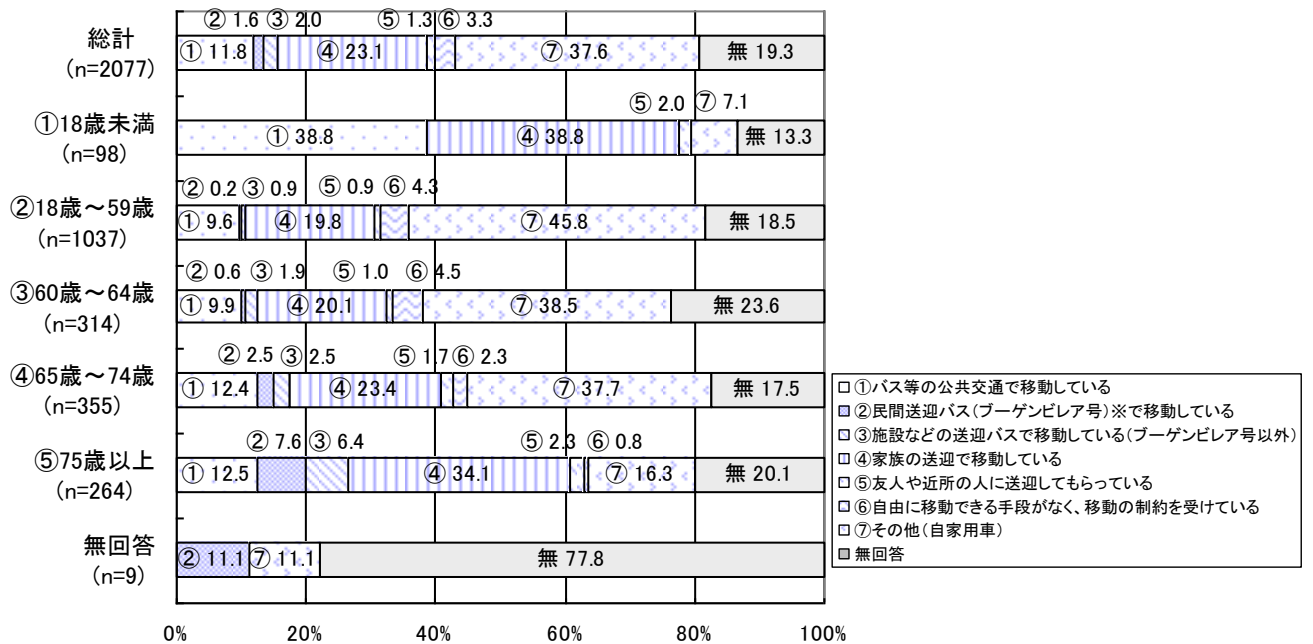
問5. 日常の主な移動手段



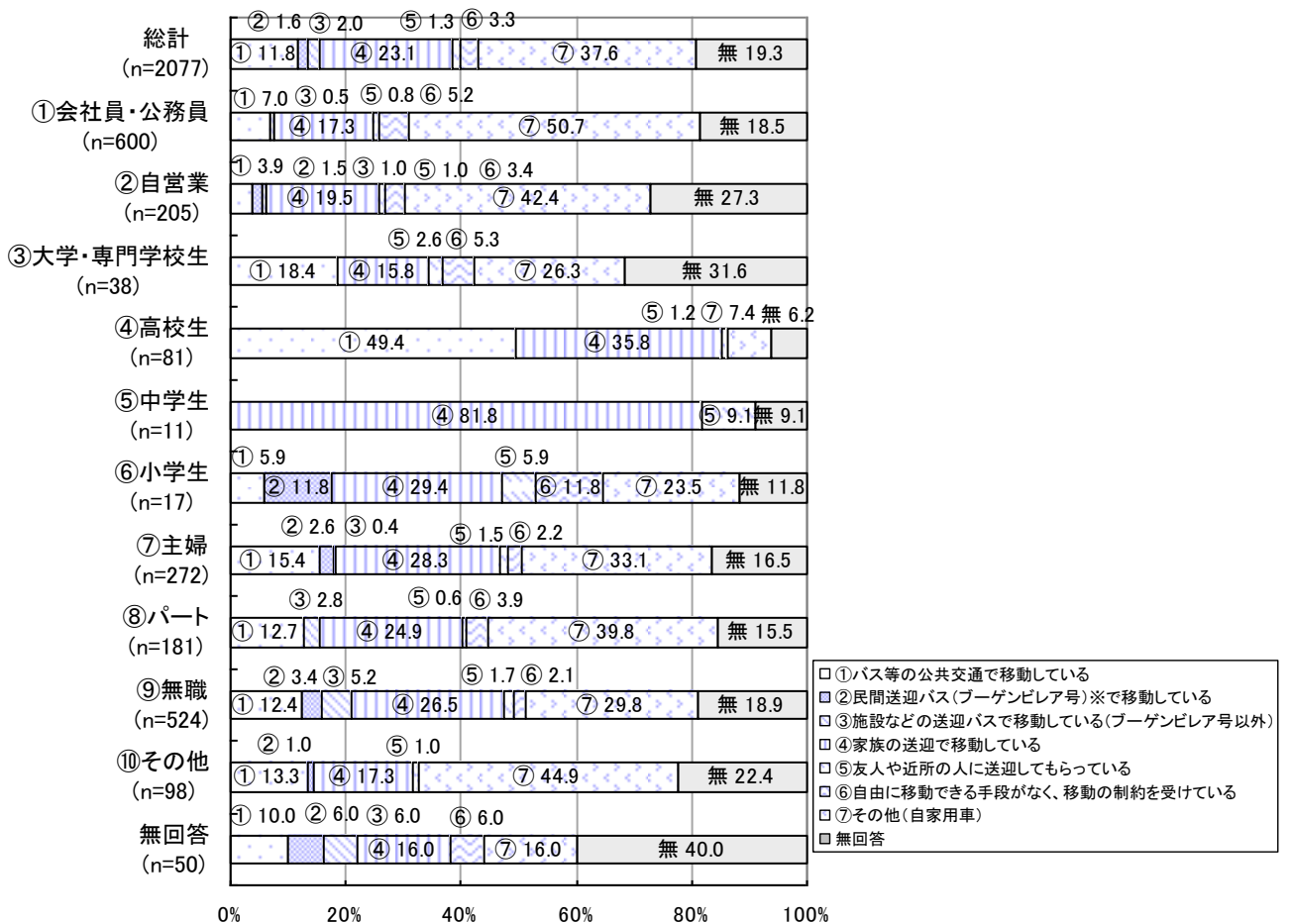
問5. 日常の主な移動手段/地域別



問5. 日常の主な移動手段/年齢別



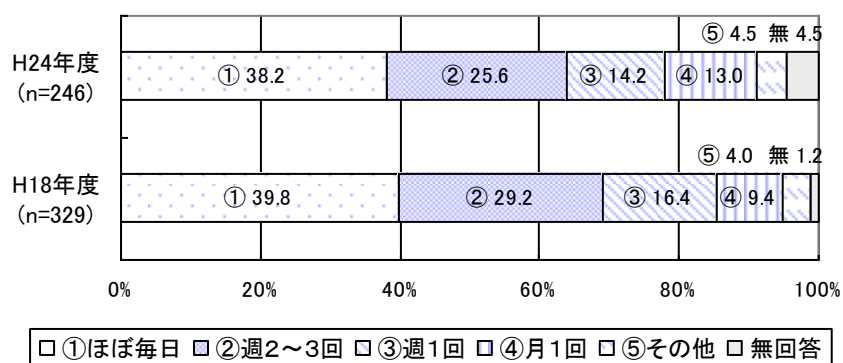
問5. 日常の主な移動手段/職業別



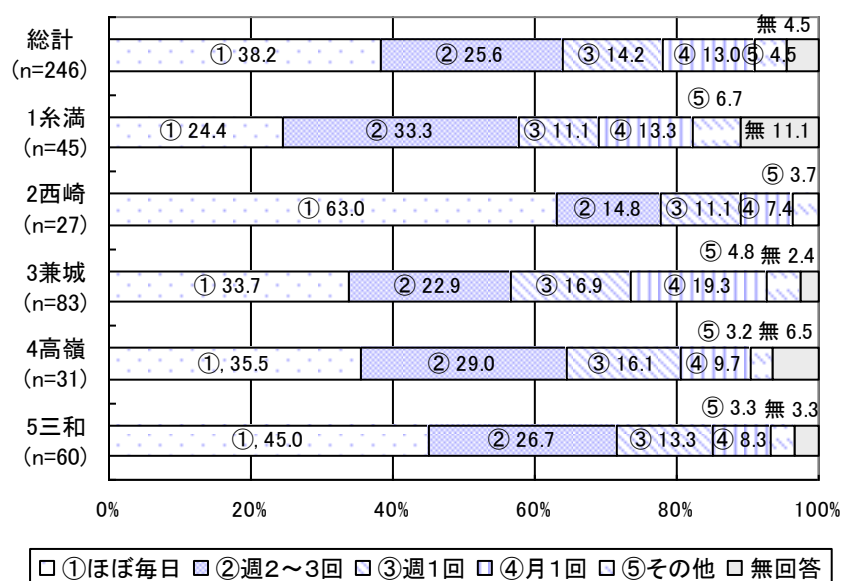
8) バスの利用頻度（「バス等の公共交通で移動している」とした人のみ回答）

- ・ バスの利用頻度は、「①ほぼ毎日」が 38.2%と最も高い。次いで「②週2～3回」が 25.6%となっている。
- ・ 地区別にみると、「①ほぼ毎日」は、西崎地区が 63.0%で高い。次いで三和地区が 45.0%となっている。
- ・ 年代別にみると、「65歳～74歳」は、「②週2～3回」の割合が高く、75歳以上では「④月1回」の割合が高い。

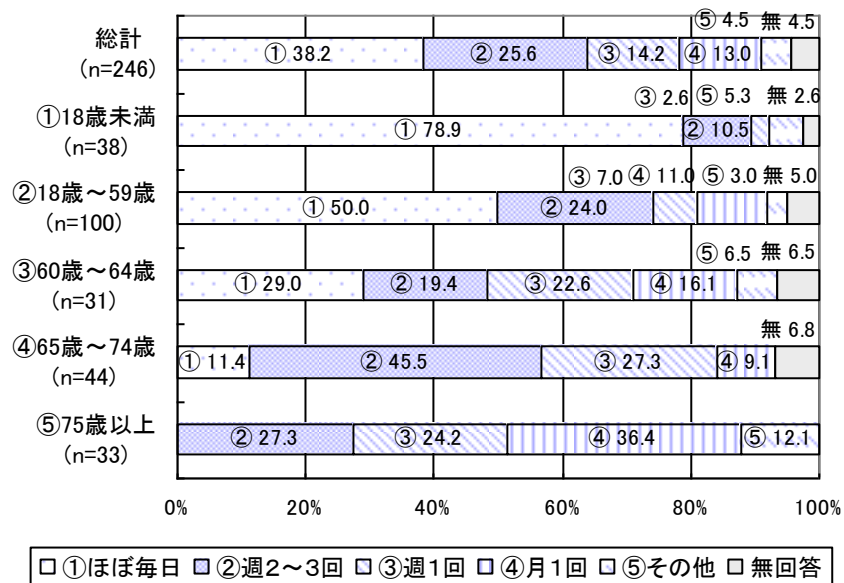
問6. 公共交通の利用頻度



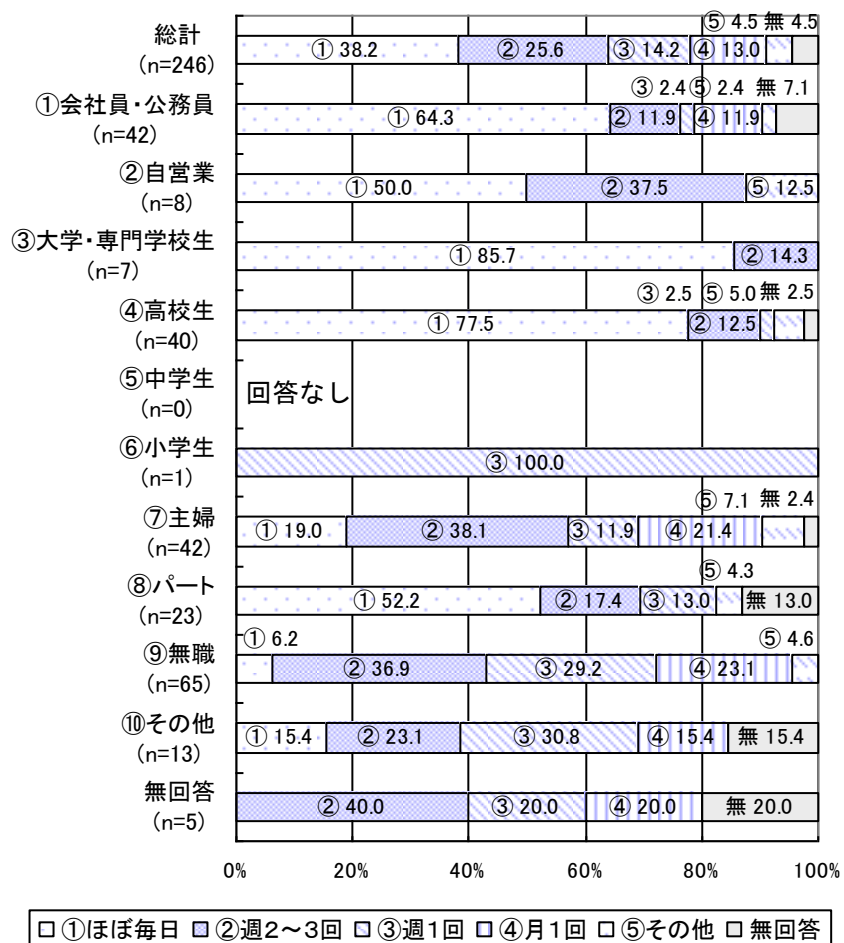
問6. 公共交通の利用頻度/地域別



問6. 公共交通の利用頻度/年齢別



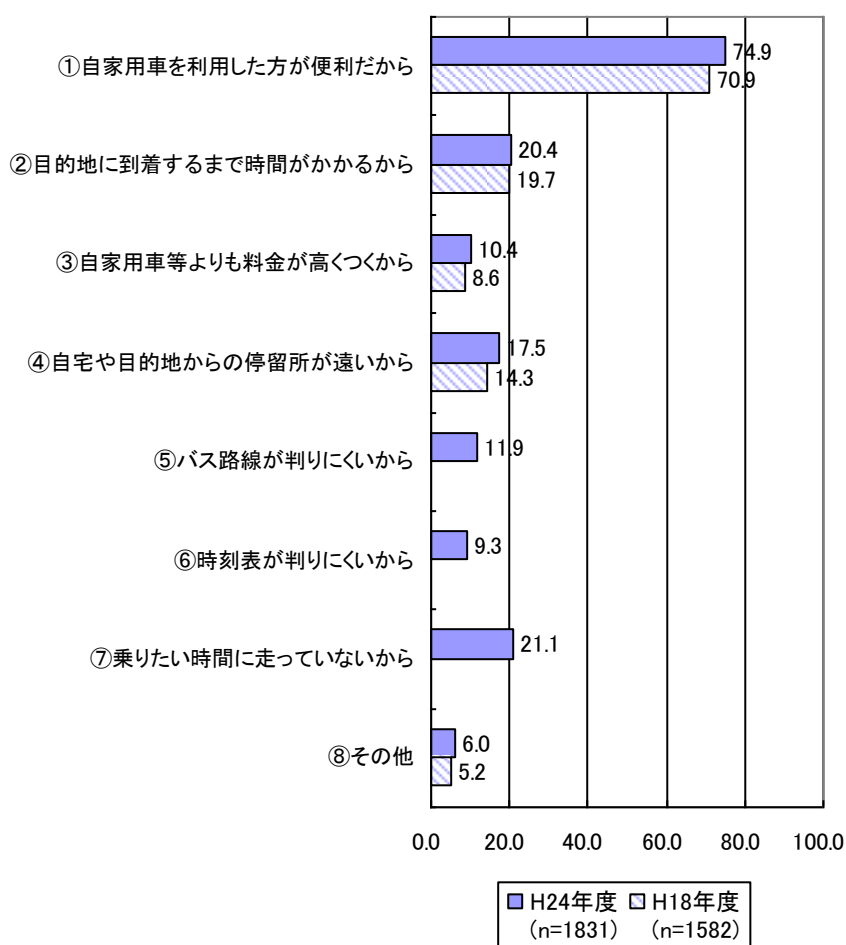
問6. 公共交通の利用頻度/職業別



9) バスを利用しない理由（「バス等の公共交通で移動していない」人のみ回答）【複数回答】

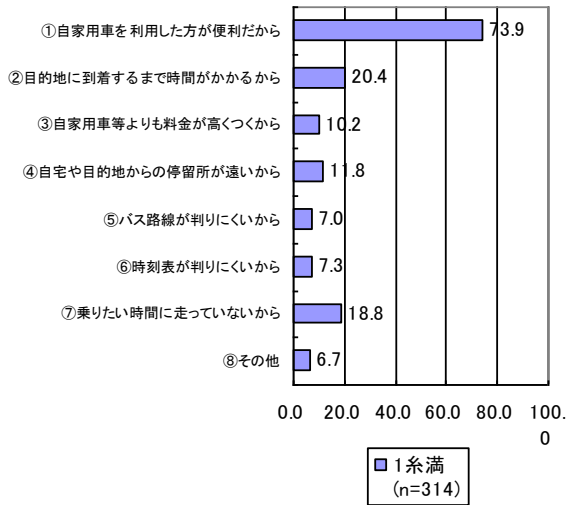
- ・ 利用しない理由は、「①自家用車を利用した方が便利だから」が 74.9%と最も高い。次いで「⑦乗りたい時間に走っていないから」が 21.1%となっている。
- ・ 地区別にみると、「①自家用車を利用した方が便利だから」は、兼城地区が 79.3%と最も高い。次いで高嶺地区が 75.6%となっている。また、「⑦乗りたい時間に走っていないから」は、高嶺地区が 25.4%と最も高く、次いで三和地区が 24.0%となっている。

問7. バス等の公共交通を利用しない理由

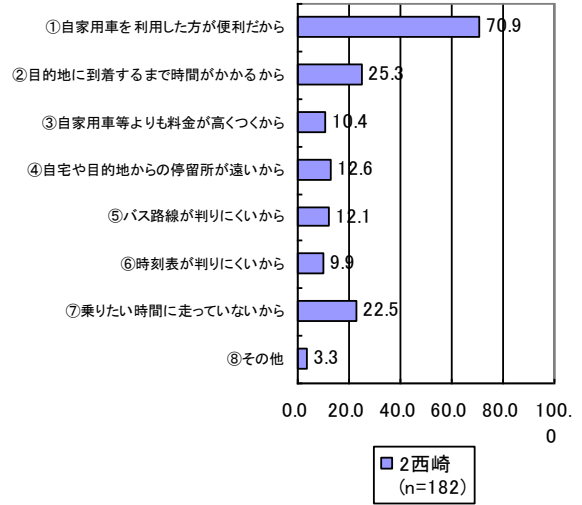


※H18 年度調査では、「⑤バス路線が判りにくいから」「⑥時刻表が判りにくいから」「⑦乗りたい時間に走っていないから」の選択肢なし。

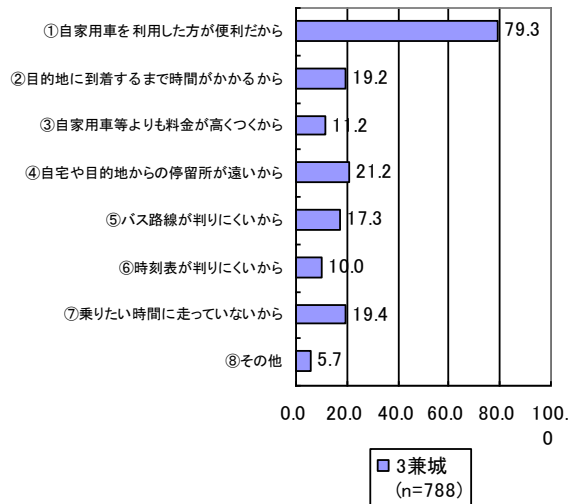
問7. バス等の公共交通を利用しない理由(糸満地区)



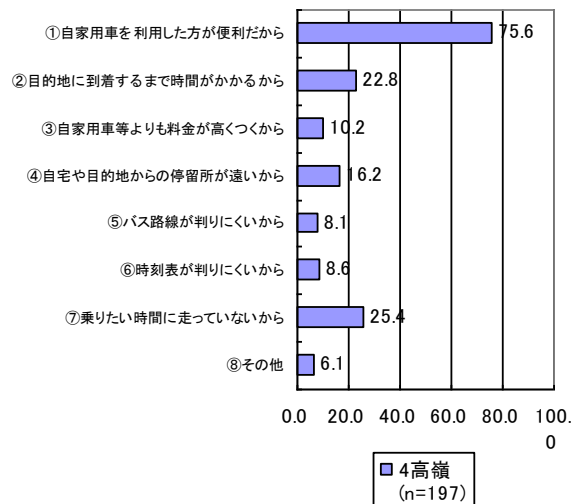
問7. バス等の公共交通を利用しない理由(西崎地区)



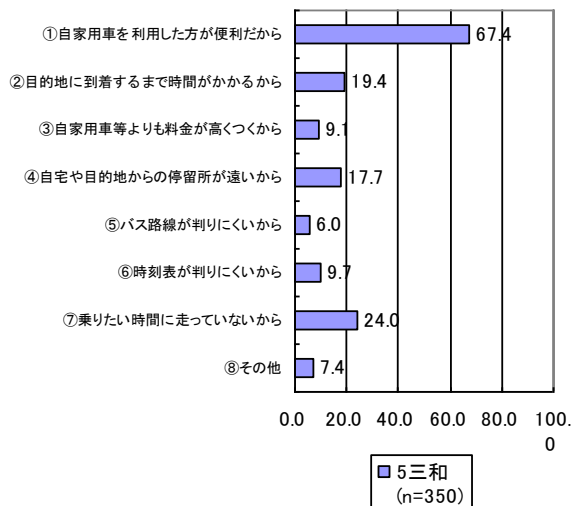
問7. バス等の公共交通を利用しない理由(兼城地区)



問7. バス等の公共交通を利用しない理由(高嶺地区)



問7. バス等の公共交通を利用しない理由(三和地区)

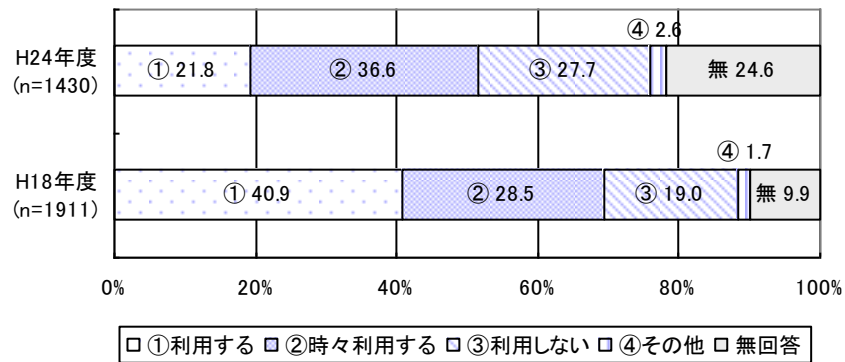


10) 課題が解決できた場合のバスの利用意向

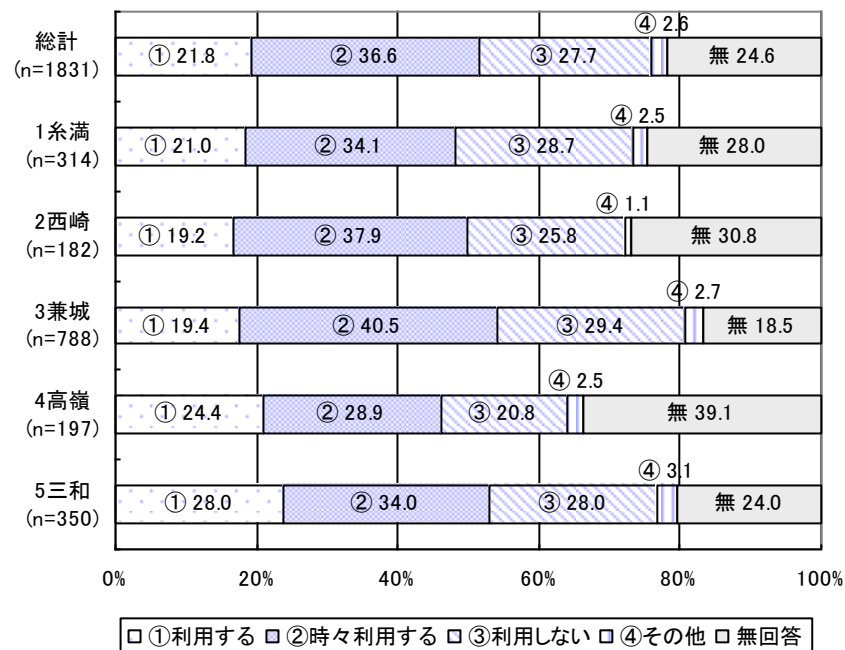
(「バス等の公共交通で移動していない」人のみ回答)

- ・ 課題が解決できた場合のバスの利用意向は、「①利用する」は21.8%、「②時々利用する」が36.6%。「③利用しない」は27.7%となっている。
- ・ 地区別にみると、「①利用する」は「三和地区」が28.0%と最も高く、次いで「高嶺地区」が24.4%となっている。
- ・ 年代別にみると「①利用する」は「18歳未満」が38.3%と最も高く、次いで「75歳以上」が27.7%となっている。

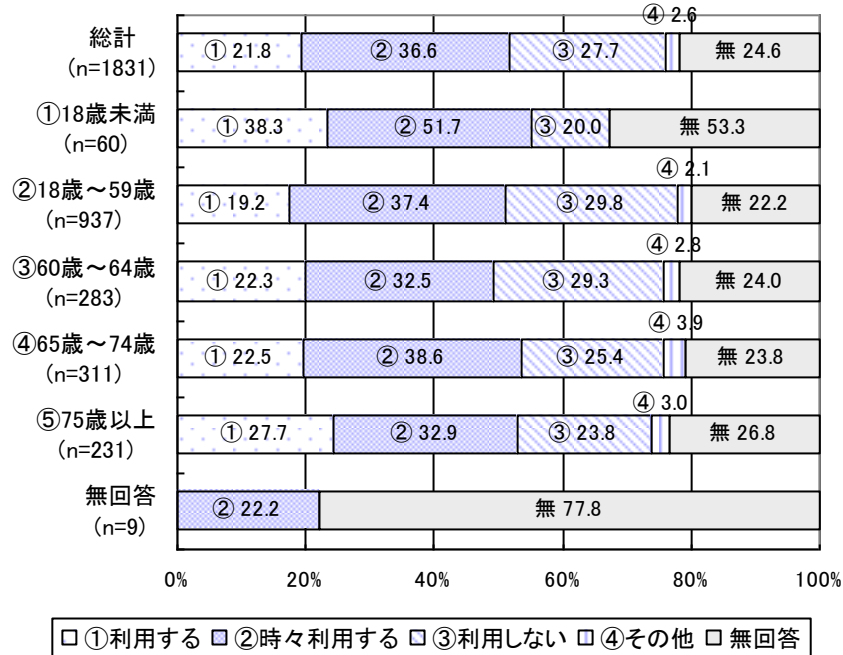
問8. 今後のバスの利用意向



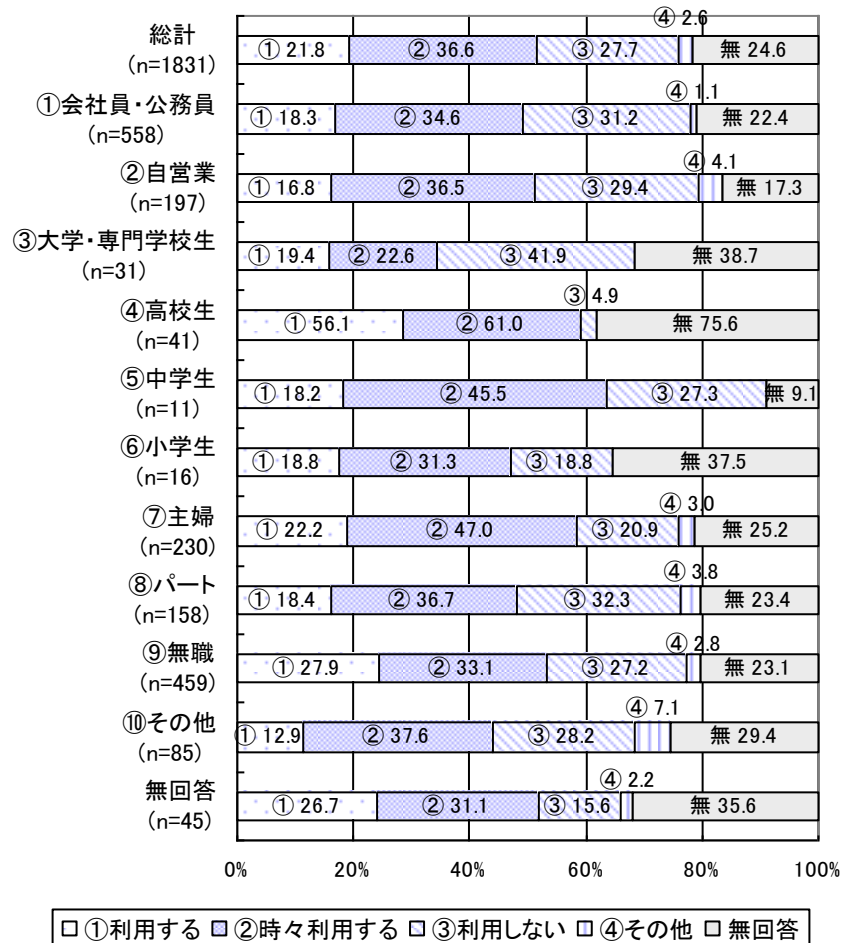
問8. 今後のバスの利用意向/地域別



問8. 今後のバスの利用意向/年齢別



問8. 今後のバスの利用意向/職業別

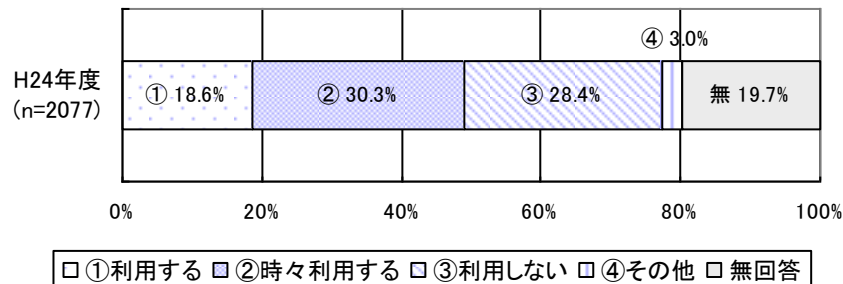


11) バス会社が行っているサービスの利用意向

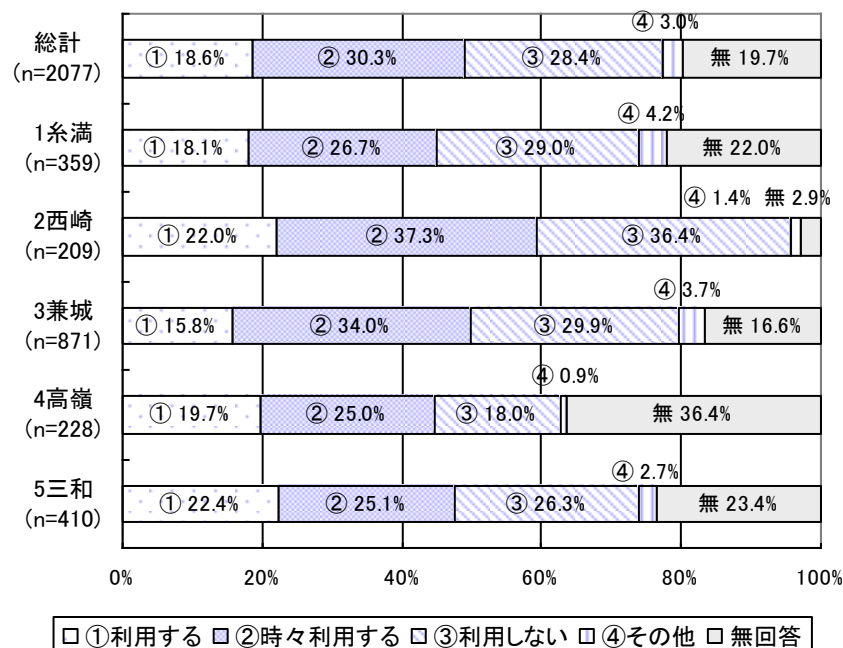
- ・ バス会社が行っているサービスについては、「①利用する」が 18.6%、「②時々利用する」が 30.3%、「③利用しない」が 28.4%となっている。
- ・ 地区別にみると、「①利用する」は三和地区が 22.4%と最も高く、次いで西崎地区が 22.0%となっている。
- ・ 年代別にみると、「①利用する」は 18 歳未満が 31.6%と最も高く、次いで 75 歳以上が 20.5%となっている。

あ	バスロケーションシステム	(リアルタイムで、停留所への到着予測時刻や目的地までの到着予測時刻、バスの現在位置などを携帯電話やパソコンで確認できるサービス)
い	日祝ファミリー割引	(大人(現金利用者)の利用者1人につき、小人(小学生)3人まで無料)
う	免許返納者割引制度	(免許返納者が運転経歴証明証を提示すれば、運賃半額)

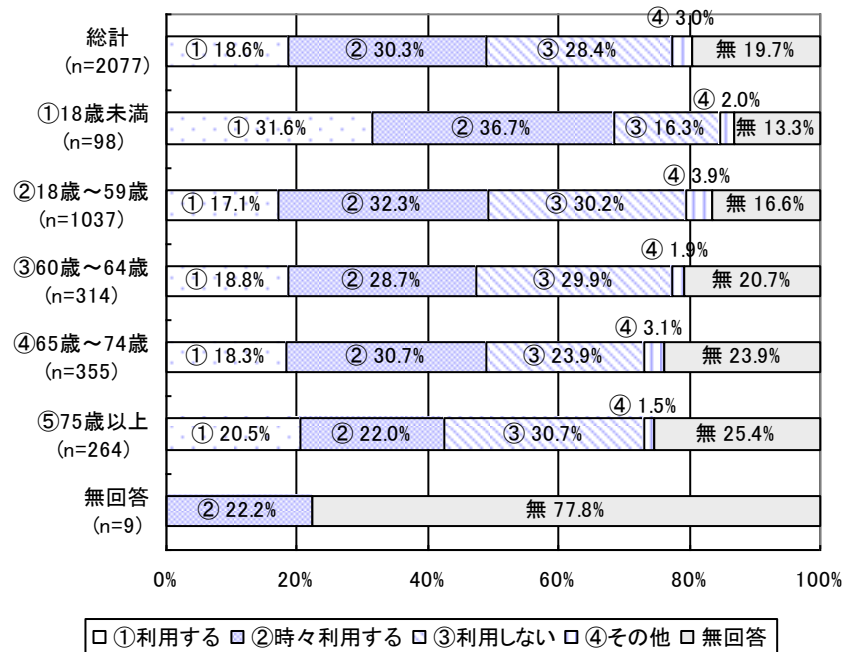
問9. バス会社が行っているサービスの利用意向



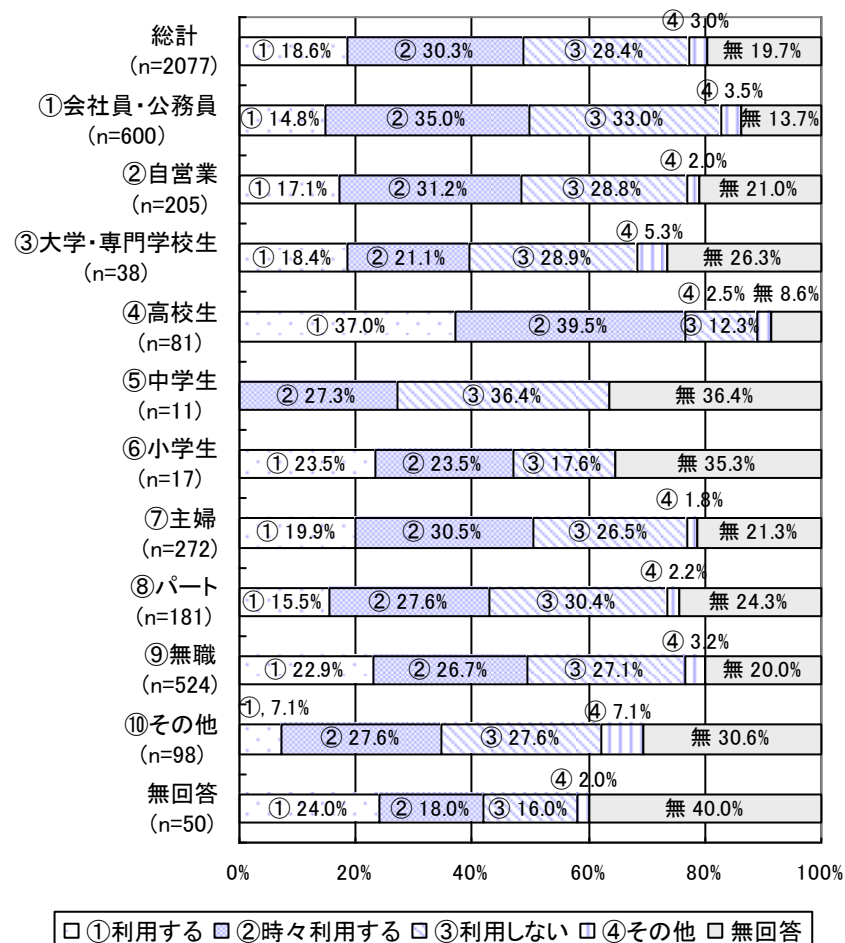
問9. バス会社が行っているサービスの利用意向/地域別



問9. バス会社が行っているサービスの利用意向/年齢別



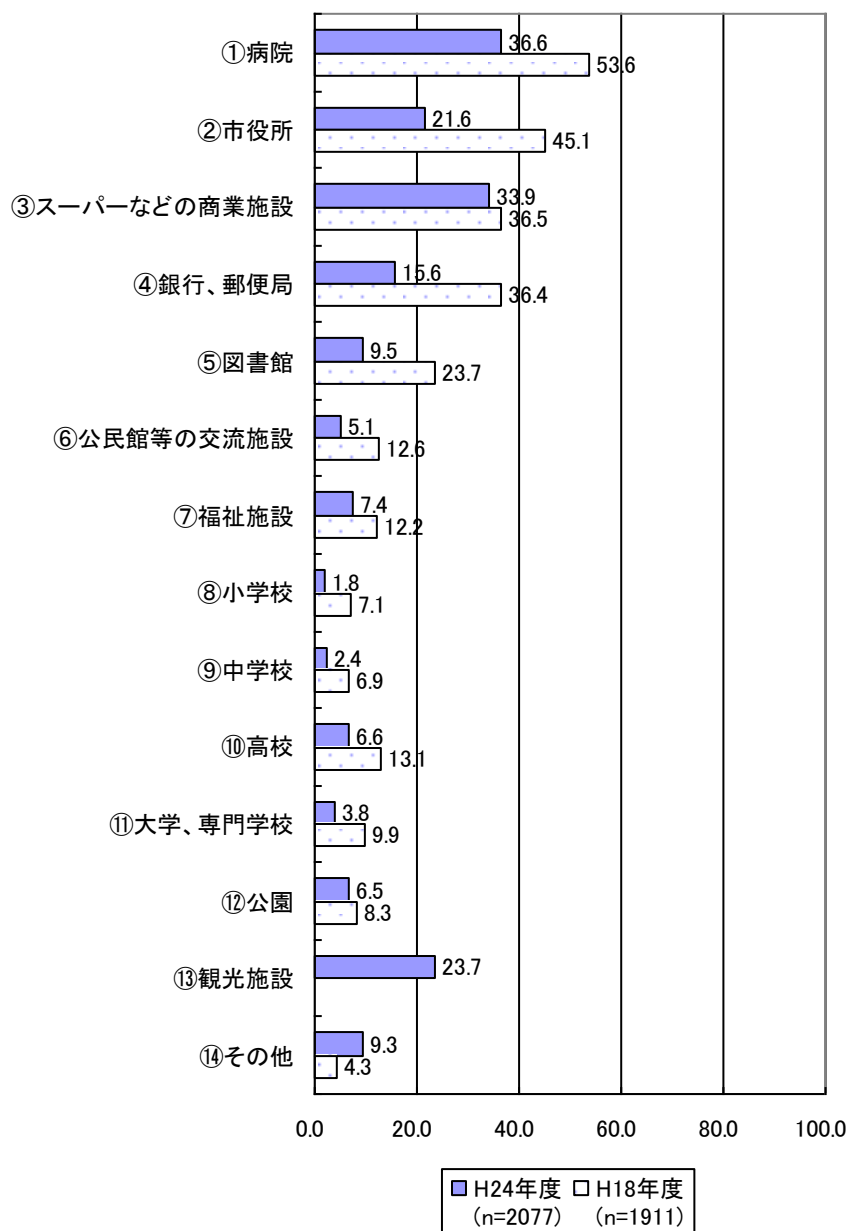
問9. バス会社が行っているサービスの利用意向/職業別



12) 公共交通を利用して行きたい場所【複数回答】

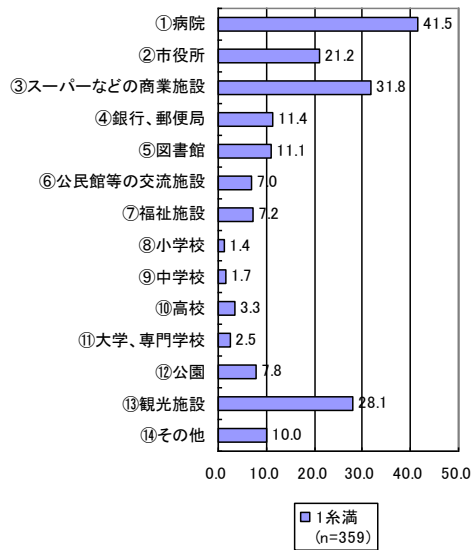
- 公共交通を利用して行きたい場所は、「①病院」が 36.6%最も高く、次いで「③スーパーなどの商業施設」が 33.9%、「⑬観光施設」が 23.7%となっている。

問10. 公共交通を利用して行きたい場所

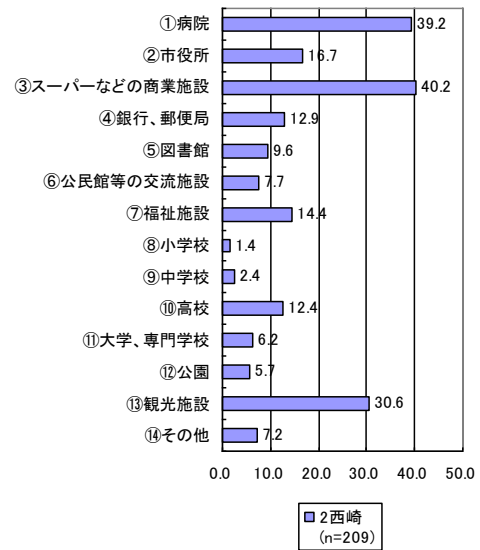


※H18 年度調査では、「⑬観光施設」の選択肢なし。

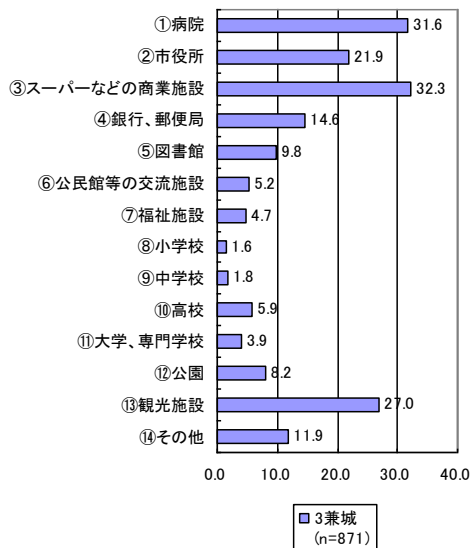
問10. 公共交通を利用して行きたい場所(糸満地区)



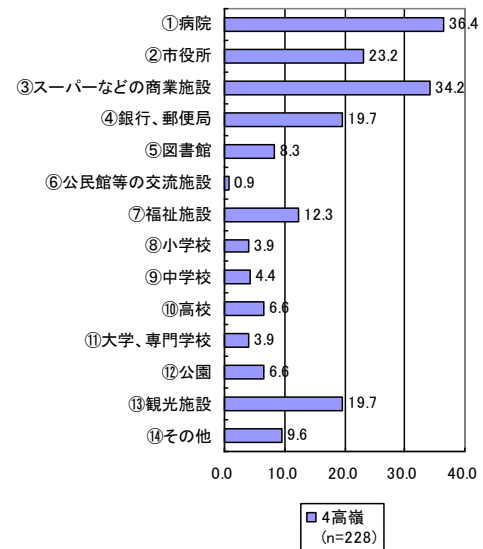
問10. 公共交通を利用して行きたい場所(西崎地区)



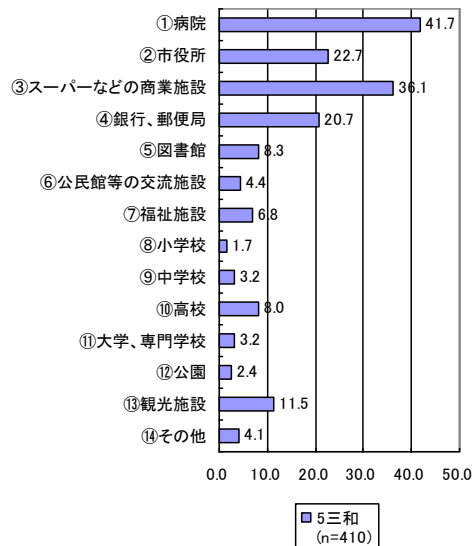
問10. 公共交通を利用して行きたい場所(兼城地区)



問10. 公共交通を利用して行きたい場所(高嶺地区)



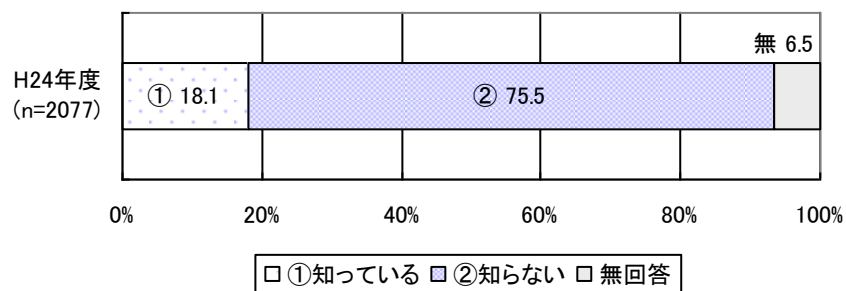
問10. 公共交通を利用して行きたい場所(三和地区)



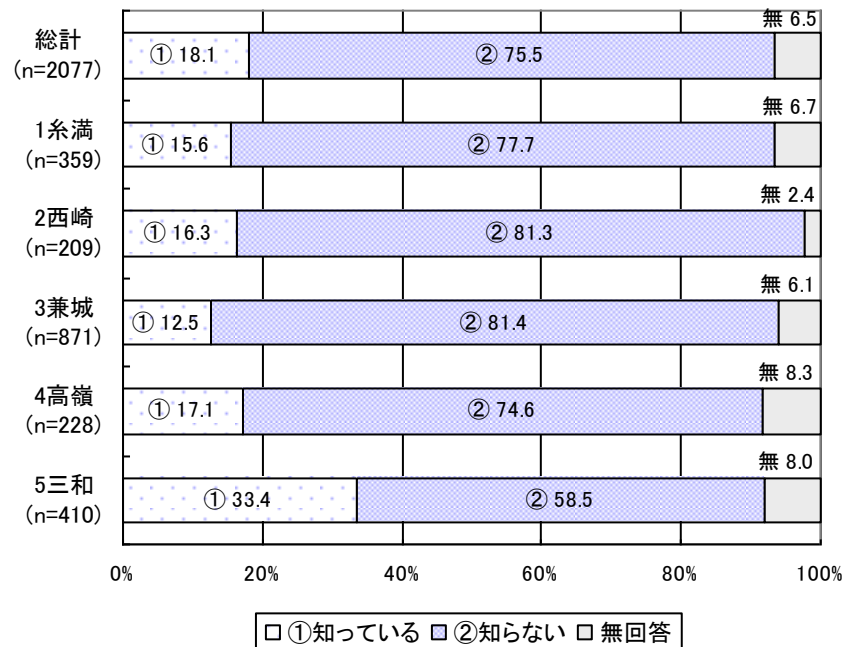
13) 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度

- 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度は、「①知っている」が18.1%、「②知らない」が75.5%となっている。
- 地区別にみると、「①知っている」は「三和地区」で33.4%と割合が高い。
- 年代別にみると、「①知っている」は「60歳～64歳」が25.5%と最も高く、次いで「65歳～74歳」が21.4%となっている。

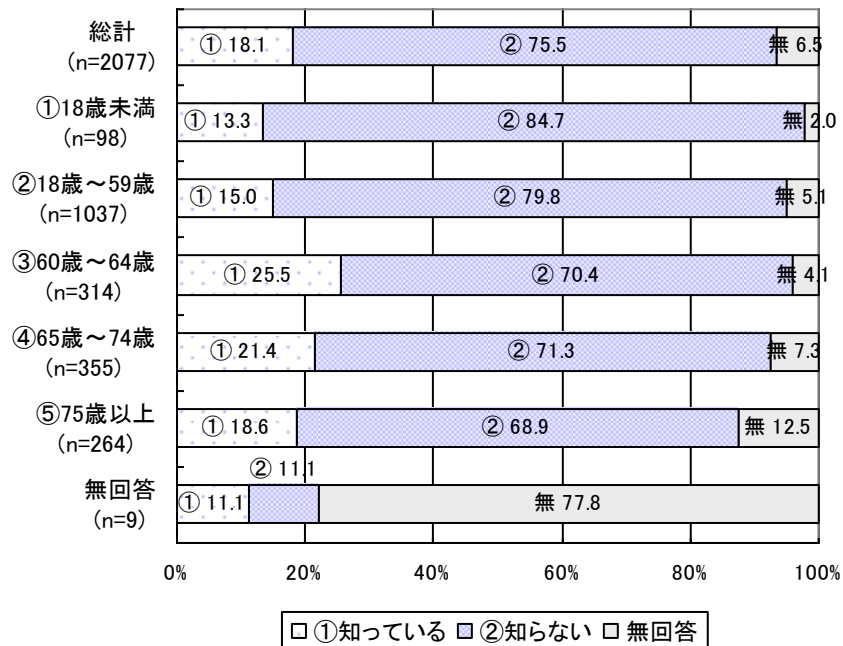
問11. 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度



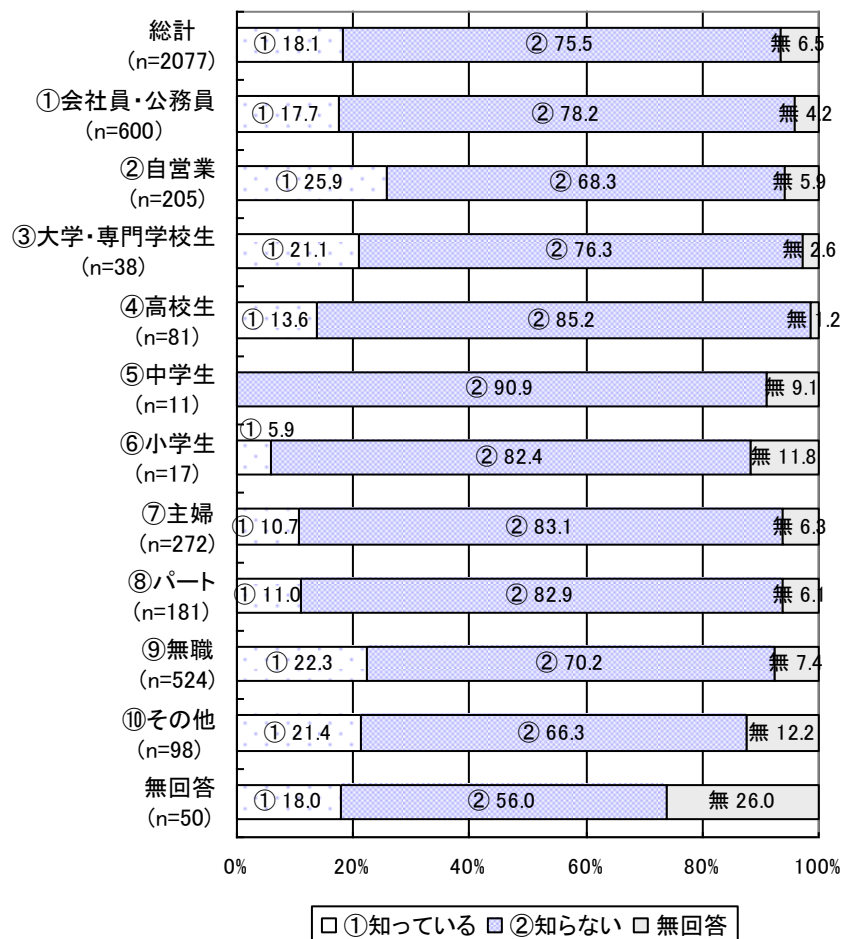
問11. 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度/地域別



問11. 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度/年齢別



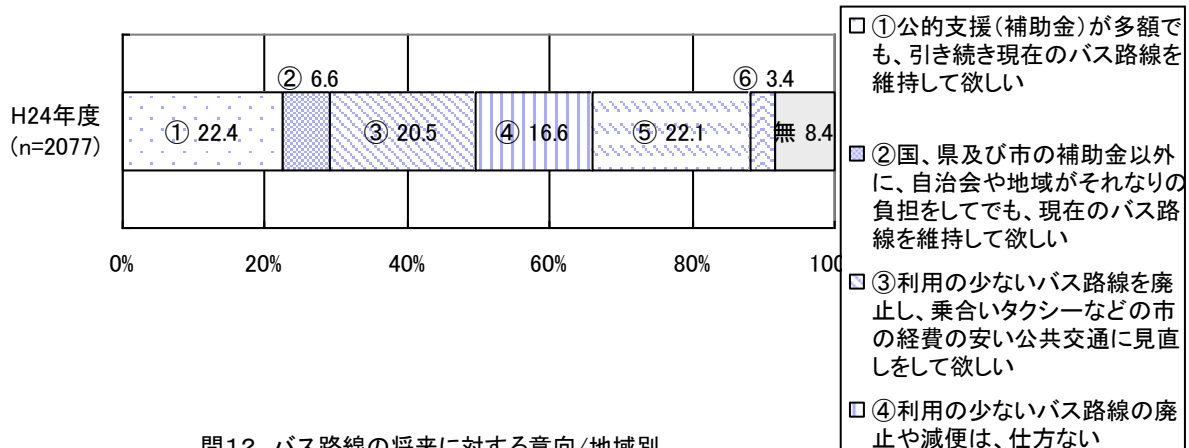
問11. 赤字路線バス維持に対する補助金投入の認知度/職業別



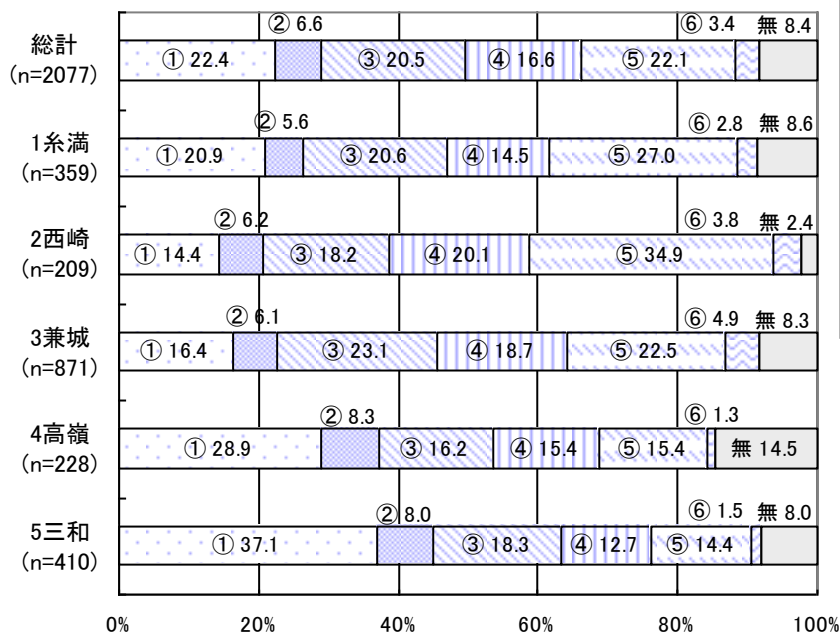
14) バス路線の将来に対する意向

- ・ バス路線の将来に対する意向は、「①公的支援（補助金）が多額でも、引き続き現在のバス路線を維持して欲しい」22.4%と最も高く、次いで「⑤わからない」が22.1%となっている。選択肢①と②を含む「既存路線の維持」を望む合計29.0%よりも、選択肢③と④を含む「公共交通の見直し」37.1%の割合が多い。
- ・ 地区別にみると、三和地区で「①公的支援（補助金）が多額でも、引き続き現在のバス路線を維持して欲しい」が37.1%と割合が高い。
- ・ 年代別にみると、若い年代ほど、選択肢③と④を含む「公共交通の見直し」の割合が多い。

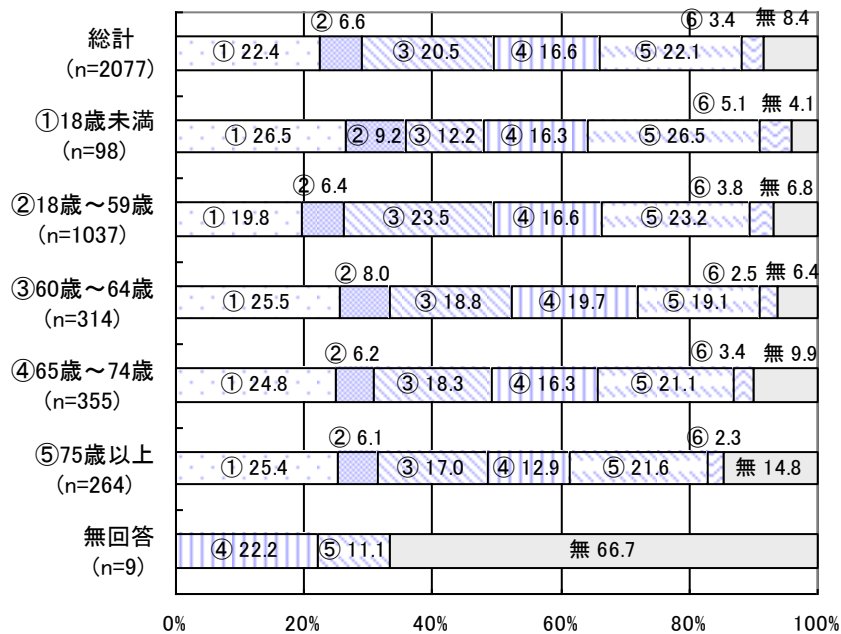
問12. バス路線の将来に対する意向



問12. バス路線の将来に対する意向/地域別



問12. バス路線の将来に対する意向/年齢別



□ ① 公的支援(補助金)が多額でも、引き続き現在のバス路線を維持して欲しい

■ ② 国、県及び市の補助金以外に、自治会や地域がそれなりの負担をしてでも、現在のバス路線を維持して欲しい

□ ③ 利用の少ないバス路線を廃止し、乗合いタクシーなどの市の経費の安い公共交通に見直しをして欲しい

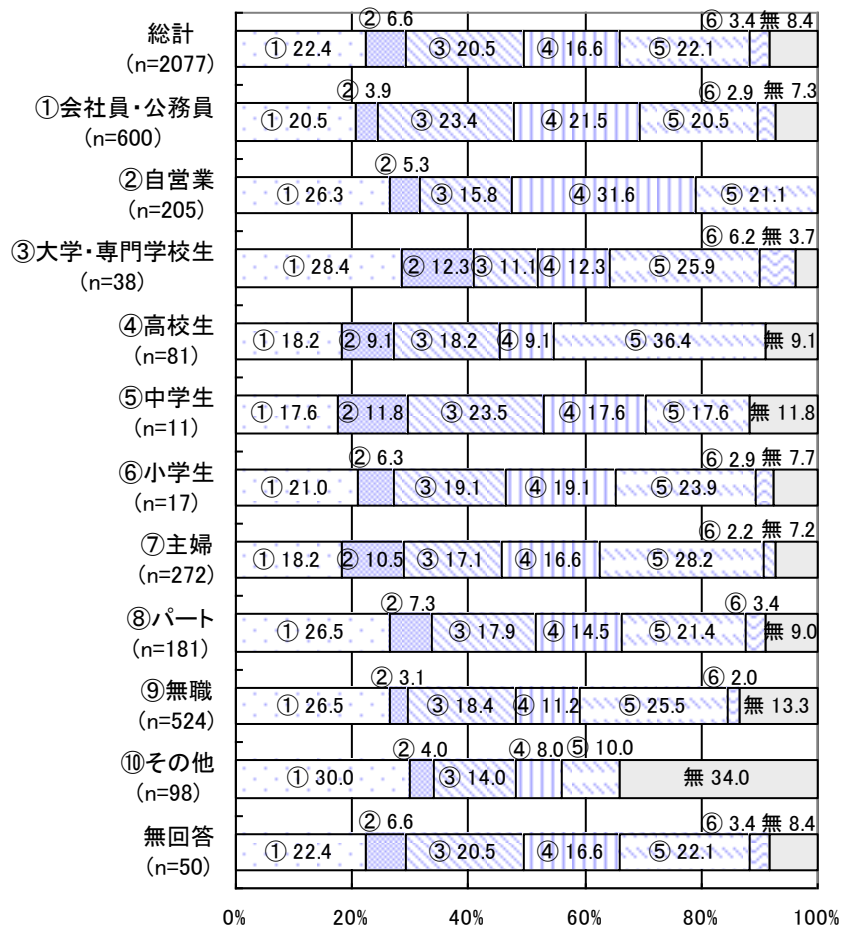
□ ④ 利用の少ないバス路線の廃止や減便は、仕方ない

□ ⑤ わからない

□ ⑥ その他

■ 無回答

問12. バス路線に対する将来に対する意向/職業別



15) 自由記述のまとめ（(カッコ) 内の数字は意見の数）

●設備面に関する記述

- ・バスを小型化する（22）
- ・バス停が遠い（6）
- ・バス停の雨よけ、日よけの屋根が欲しい（3）
- ・バス停のベンチの設置（2）
- ・バスロケーションシステムは評判が良い（2）
- ・WEB サービスを見やすく（2）
- ・バスの中に傘置き場希望（1）
- ・バス停の除草（1）
- ・バス停がわかりにくい（1）
- ・乗客数に応じたバスの大きさにする（1）
- ・道路が狭いため乗降時に渋滞する（1）
- ・道路整備がなっていない（1）
- ・市内線のように入口を別にしてほしい（1）
- ・沖縄すべてのバス路線の WEB サービスを希望（1）
- ・バス停での音声案内（1）
- ・利用者の少ないバスはスーパーシートなどのくつろげるスペースがほしい（1）
- ・路線番号を名護なら 75、コザなら 53 にしたらわかりやすい（1）

●時刻表に関する記述

- ・時刻表の配布、PR（7）
- ・バス停の時刻表が汚い、見にくい（4）
- ・時刻表がわかりにくい（4）

●運賃に関する記述

- ・料金安く（13）
- ・一律の料金（1）
- ・高齢者は運賃無料希望（1）
- ・国有化し無料にする（1）
- ・市内 100 円バス（1）

●バスの運行形態に関する記述

- ・バスが時刻どおりこない（19）
 - ・分かりやすいバス路線を希望（9）
 - ・渋滞の緩和につなげてほしい（4）
 - ・自由に乗り降りできるバスを希望（2）
 - ・子供も利用しやすいバス（2）
-

- ・瀬長島から西崎まで渋滞が酷い (1)
- ・環境に配慮したバス (1)

●バスの運行時間、回数に関する意見

- ・通勤時間帯の便の増加 (6)
- ・便数の増加 (4)
- ・利用頻度の低いバス路線の廃止、削減 (4)
- ・深夜帯の便を希望 (2)
- ・バス路線の拡大 (兼城ハイツ 2名)
- ・高齢者のためのバスの増加 (国吉線、三和地域) (1)
- ・バスが多すぎる (1)
- ・現在バスの運行実態と市民のニーズがマッチしていると思えない (1)

●運転手に関する記述

- ・運転手の資質に問題あり (3)
- ・席に座る前に発車して危ない (2)

●バスの運行ルートに関する記述

- ・市内循環線のバス希望 (8)
- ・観光施設、公共施設用の巡回バス (7)
- ・停留所、路線の増加 (6)
- ・乗り継ぎが不便 (5)
- ・部落内のメイン通りにバス路線を (3)
- ・中道を利用したバスがあれば便利 (1)
- ・イベントのときのシャトルバス (1)
- ・武富北波平区域から県道331号線に出る交通路がない (2)
- ・遠距離バス路線 (那覇より北の方へ直行便) (1)

●路線バス以外の公共交通施設に関する記述

- ・糸満にモノレールの延長 (5)
 - ・乗合いのタクシー (5)
 - ・スクールバス希望 (3)
 - ・糸満から名護北部まで電車要望 (2)
 - ・車が便利 (2)
 - ・高齢者のための民間送迎バスを希望 (2)
 - ・電動式自転車を利用する (1)
 - ・タクシーを使いやすく (1)
 - ・自転車道の整備 (1)
-

- ・ 公共施設各自の送迎バスを希望 (1)
- ・ 車いす対応の乗合いバス (1)
- ・ 介護タクシー・介護バス (1)
- ・ ノーマイカーデーを作る。(1)
- ・ 各集落でボランティア送迎車 (1)

●今後のバスの運営に関する記述

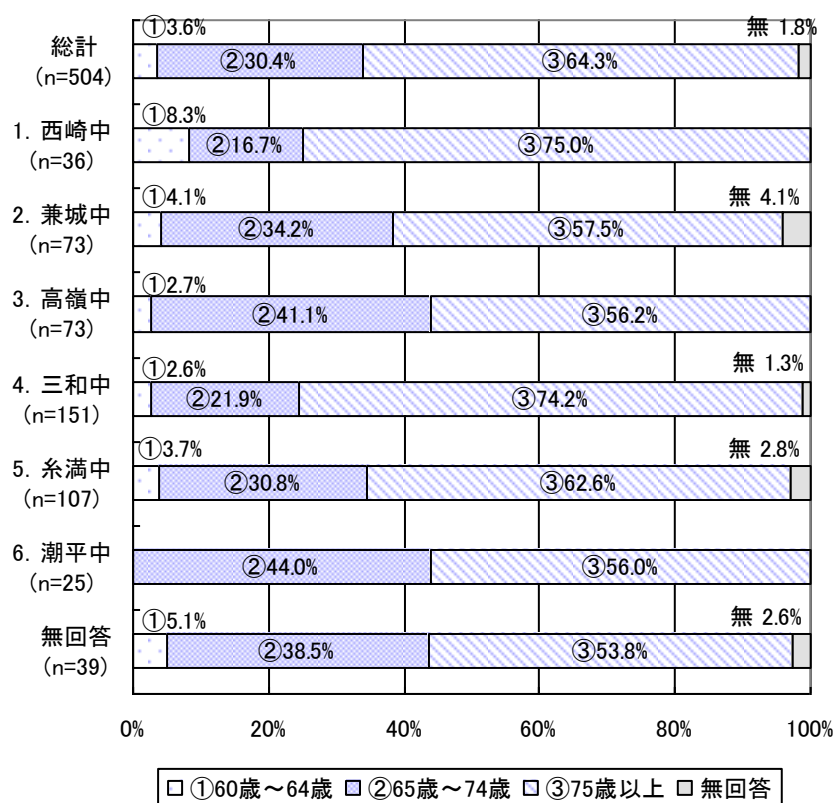
- ・ 高齢者の外出、通勤、通学の利用のためにも継続してほしい (24)
- ・ 税金の無駄遣いにならないようにする (2)
- ・ なぜ利用者がいないのか根本的な原因の調査が必要 (2)
- ・ コストを削減し赤字をなくす (1)
- ・ 赤字路線を市が運営したほうがよい (1)
- ・ バス会社だけではなく、一般個人にも運行許可すればよい (1)

(2) 高齢者アンケート（ブーゲンビリア号に関するアンケート）

1) 年齢

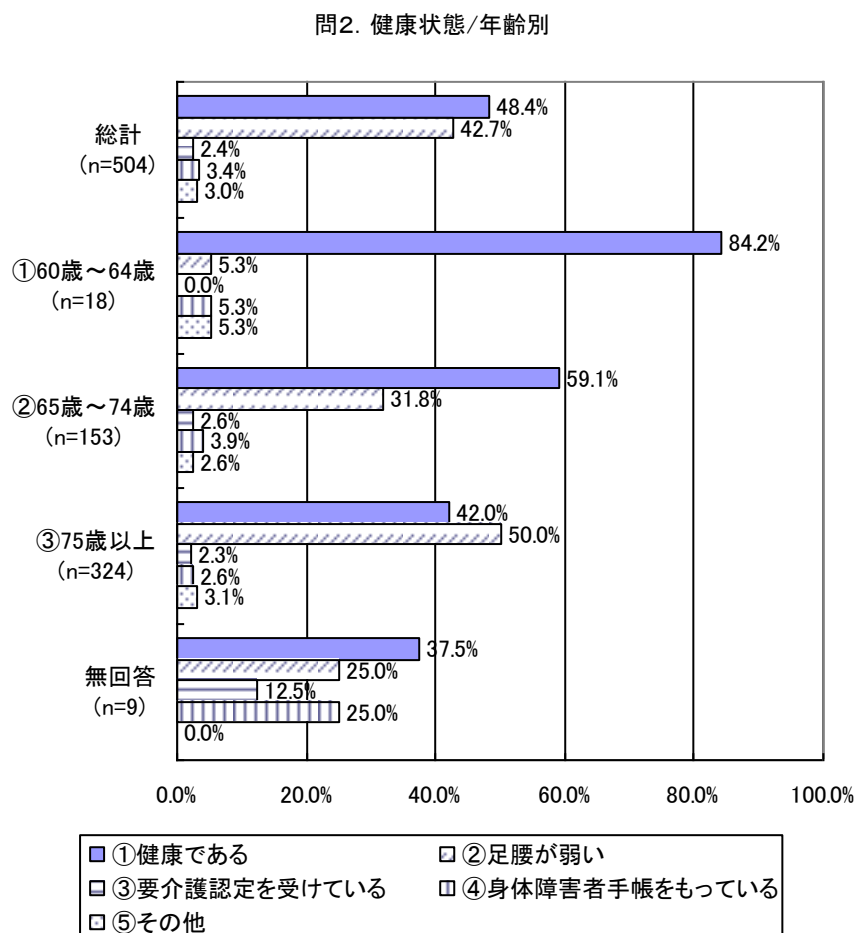
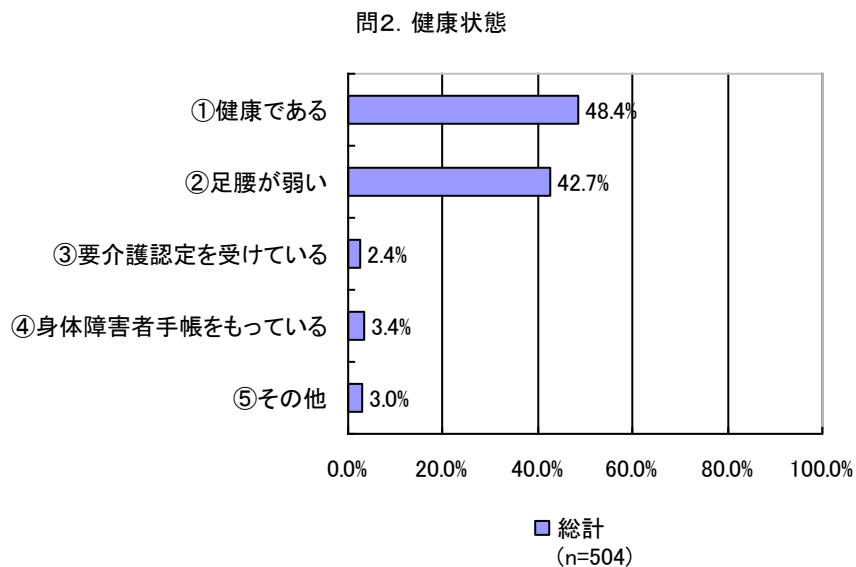
- 回答者の年齢は、「①60～64歳」が3.6%、「②65歳～74歳」が30.4%、「③75歳以上」が64.3%となっている。回答者の94.7%がブーゲンビリア号が利用可能な年齢（65歳以上）となっている。

問1. 年齢/中学校区別



2) 健康状態【複数回答】

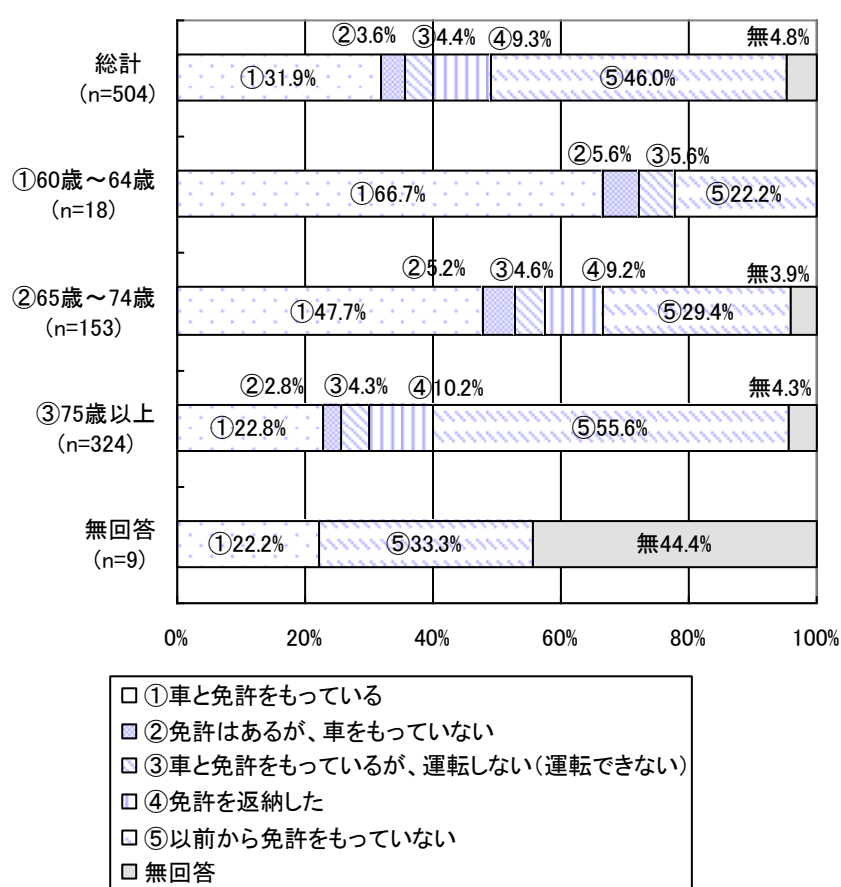
- 回答者の健康状態は、「①健康である」が 48.4%、「②足腰が弱い」が 42.7%となっている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるほど「①健康である」の割合は低くなり、75 歳以上では「①健康である」の割合が 42.0%となる。



3) 自動車と免許の有無

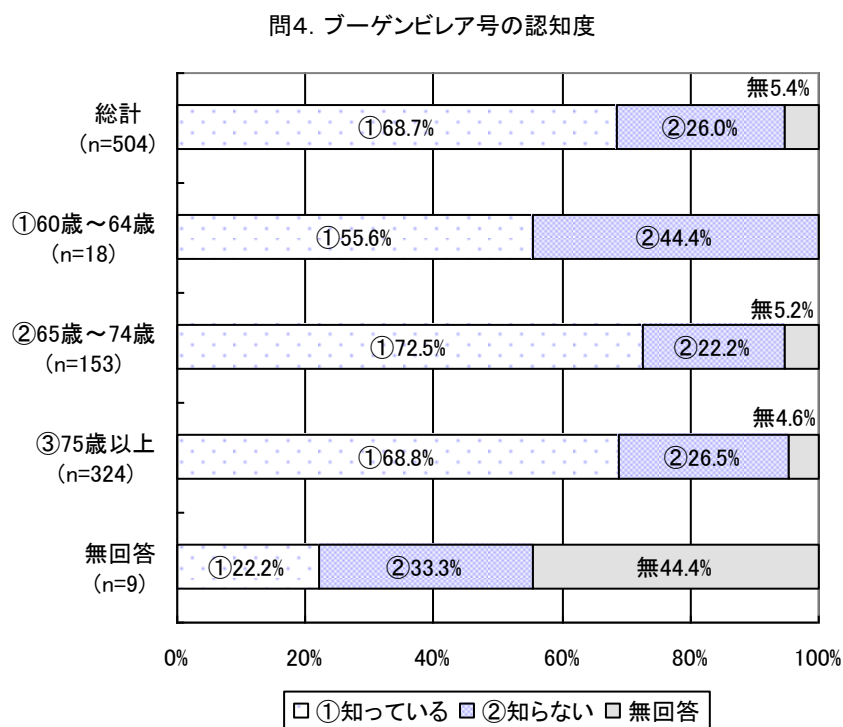
- ・ 自動車と免許の有無は、「①車と免許を持っている」が31.9%となっている。「⑤以前から免許を持っていない（46.0%）」を含め、自動車または免許を持たない割合の合計は58.9%を占めている。
- ・ 年代別にみると、「①車と免許を持っている」は年齢が高くなるほど割合が低くなり、75歳以上では22.8%となる。

問3. 自動車と免許の有無



4) ブーゲンビリア号の認知度

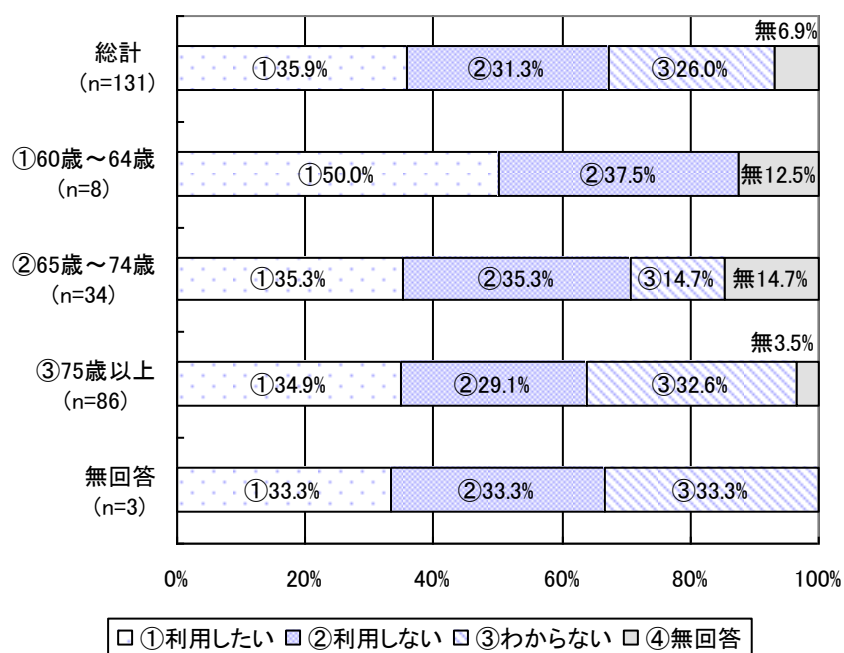
- ・ ブーゲンビリア号の認知度は、「①知っている」が68.7%、「②知らない」が26.0%となっている。
- ・ 年代別にみると、「65歳～74歳」において「①知っている」が72.5%と、他の年代に比べ認知度が高い。



5) ブーゲンビリア号の利用意向（ブーゲンビリア号を「知らない」人のみ回答）

- ブーゲンビリア号の利用意向は、「①利用したい」が 35.9%、「②利用しない」が 31.3%、「③わからない」が 26.0%となっている。
- 年代別にみると、「60 歳～64 歳」において「①利用したい」が 50.0%と、他の年代に比べ利用意向が高い。

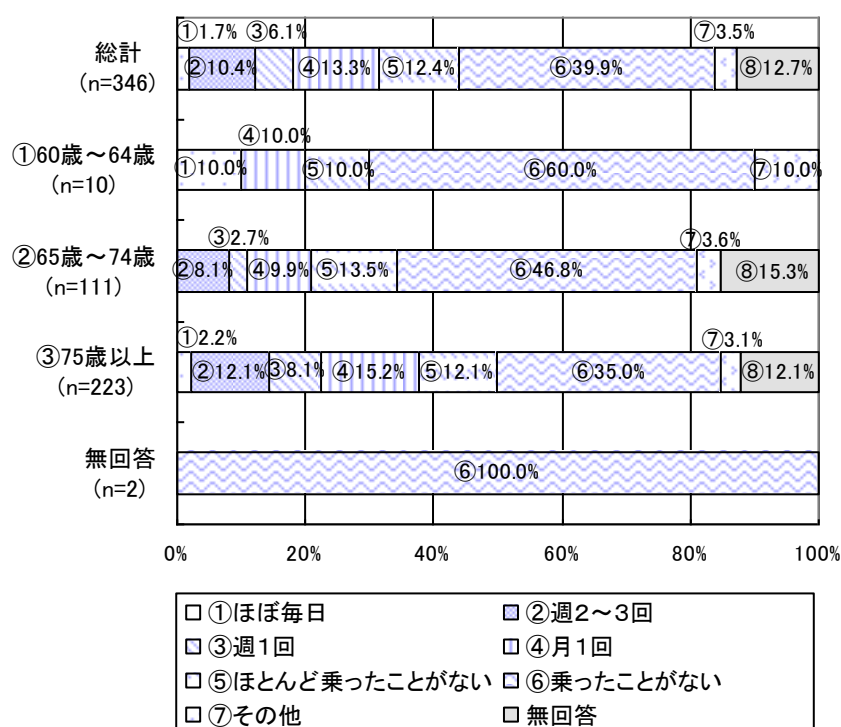
問5. ブーゲンビリア号の利用意向



6) ブーゲンビレア号の利用頻度（ブーゲンビレア号を「知っている」人のみ回答）

- ・ ブーゲンビレア号の利用頻度は、「⑥乗ったことがない」が39.9%と最も多い。また、「①ほぼ毎日（1.7%）」「②週2～3回（10.4%）」「③週1回（6.1%）」を合わせた割合は18.2%となっており、日常的にブーゲンビレア号を2割の方が利用している。
- ・ 年代別にみると、年代が高くなるほど、ブーゲンビレア号を日常的に利用している割合が高くなる。

問6. ブーゲンビレア号の利用頻度

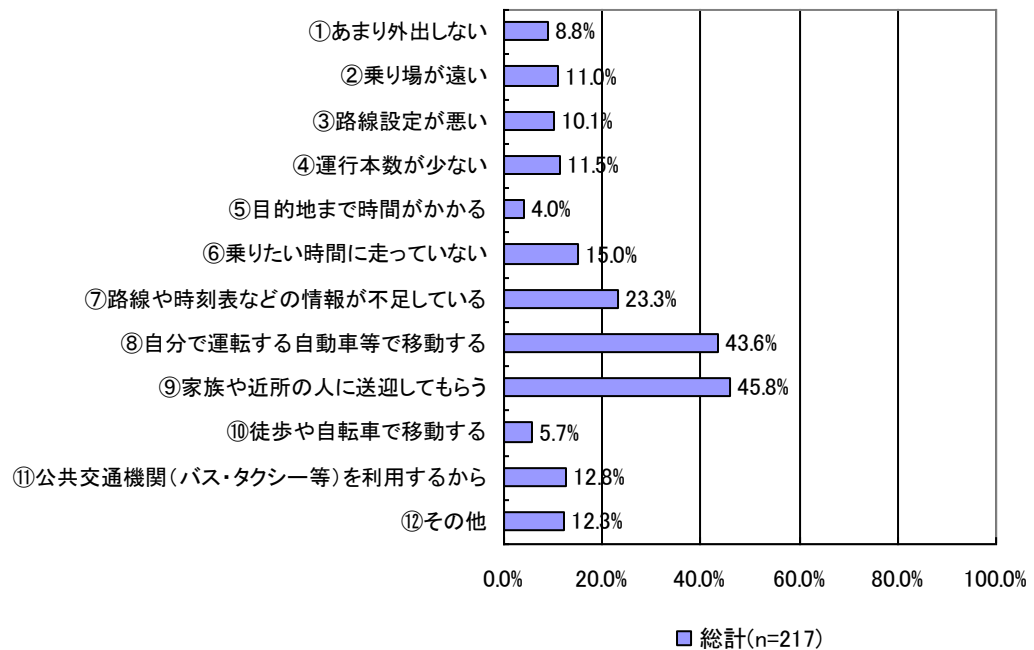


7) ブーゲンビリア号を利用しない理由【複数回答】

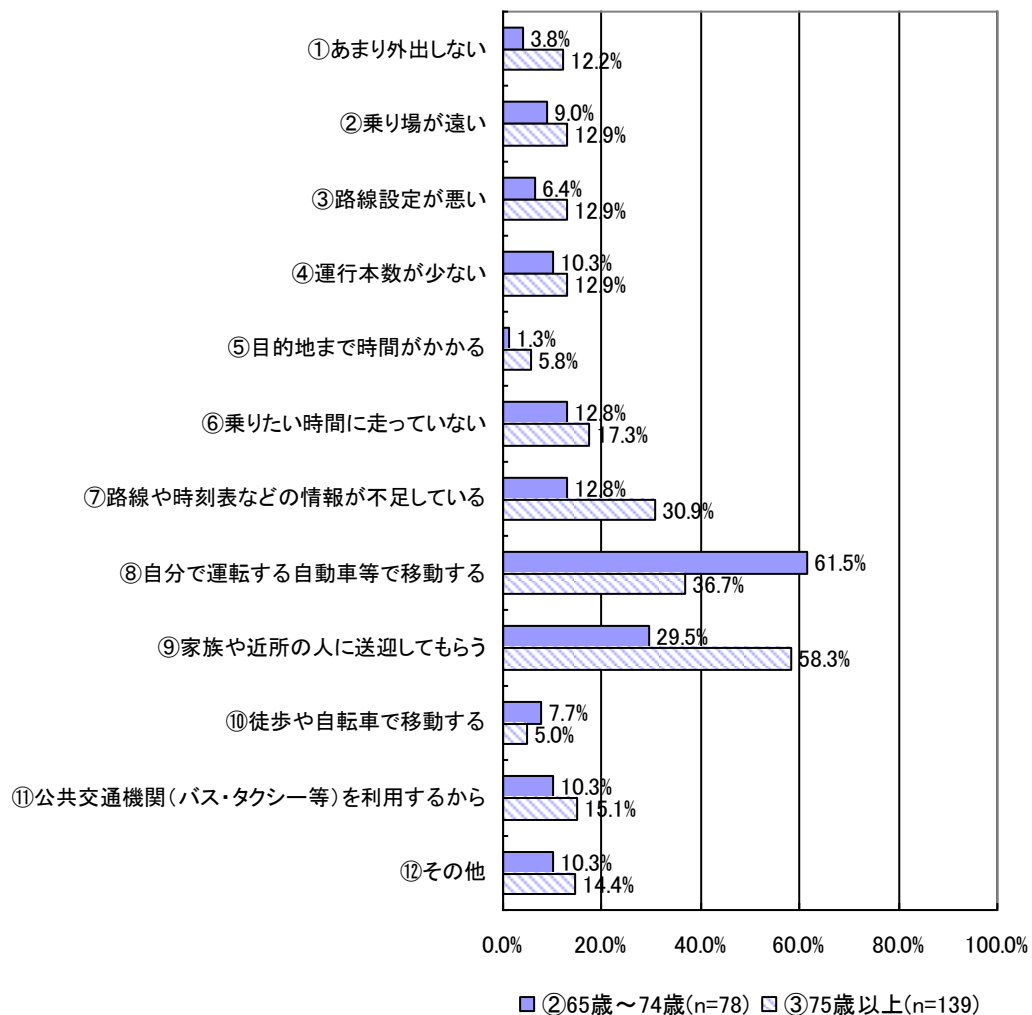
(ブーゲンビリア号を「月1回」「ほとんど利用しない」「乗ったことがない」人のみ回答)

- ・ ブーゲンビリア号を利用しない理由は、「⑨家族や近所の人に送迎してもらう」が45.8%と最も高く、次いで「⑧自分で運転する自動車等で移動する」が43.6%、「⑦路線や時刻表などの情報が不足している」が23.3%となっている。

問7. ブーゲンビリア号を利用しない理由



問7. ブーゲンビリア号を利用しない理由/年齢別

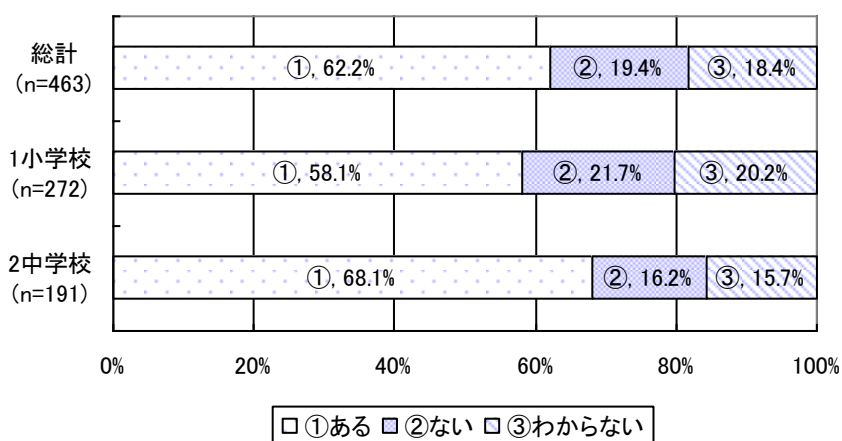


(3) 小中学生アンケート

1) 家の近くのバス停の有無

- 家の近くにバス停が「①ある」が 62.2%、「②ない」が 19.4%と、大半が近所にバス停があると回答している。一方、小中学生の 18.4%は、家の近くにバス停があるか「③わからない」と回答している。

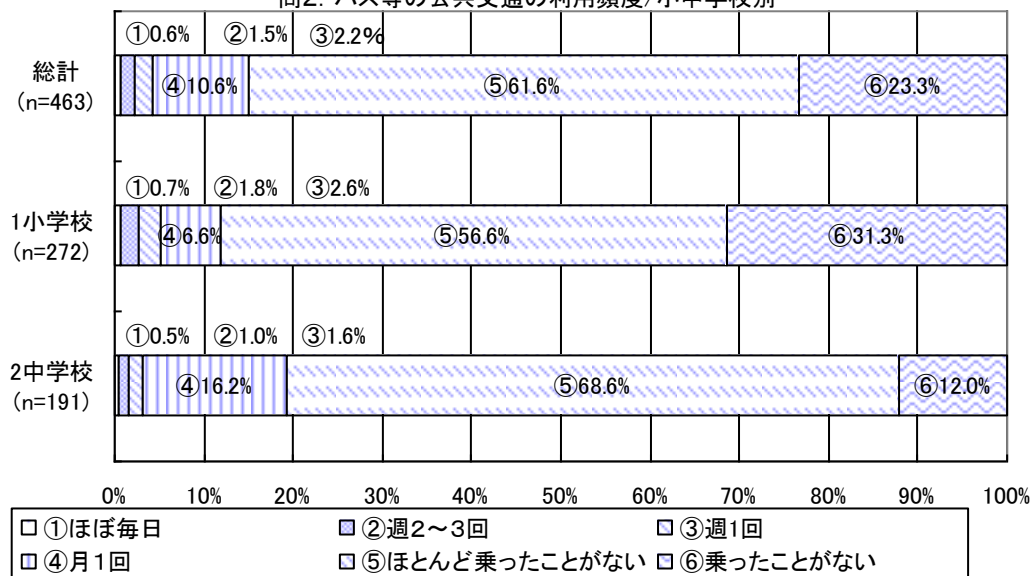
問1. 家の近くのバス停の有無/小中学校別



2) 路線バスの利用頻度

- 路線バスの利用頻度は、「⑤ほとんど乗ったことがない」が 61.6%と最も多い。「⑥乗ったことがない」23.3%、「④月1回」10.6%を含む、日常的に路線バスを利用していない割合が 95.5%を占めている。

問2. バス等の公共交通の利用頻度/小中学校別

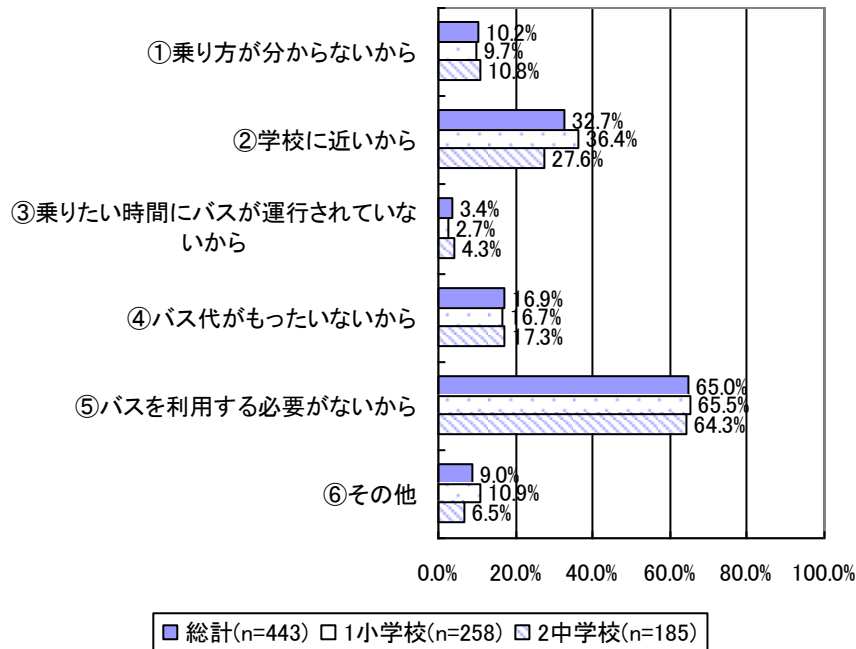


3) 路線バスを利用しない理由【複数回答】

(路線バスを「月1回」「ほとんど乗ったことがない」「乗ったことがない」人のみ回答)

- ・ 路線バスを利用しない理由は、「⑤バスを利用する必要があるから」が 65.0%と最も高い。次いで「②学校に近いから」が 32.7%となっている。また、「①乗り方が分からないから」小中学生も 9.0%存在している。

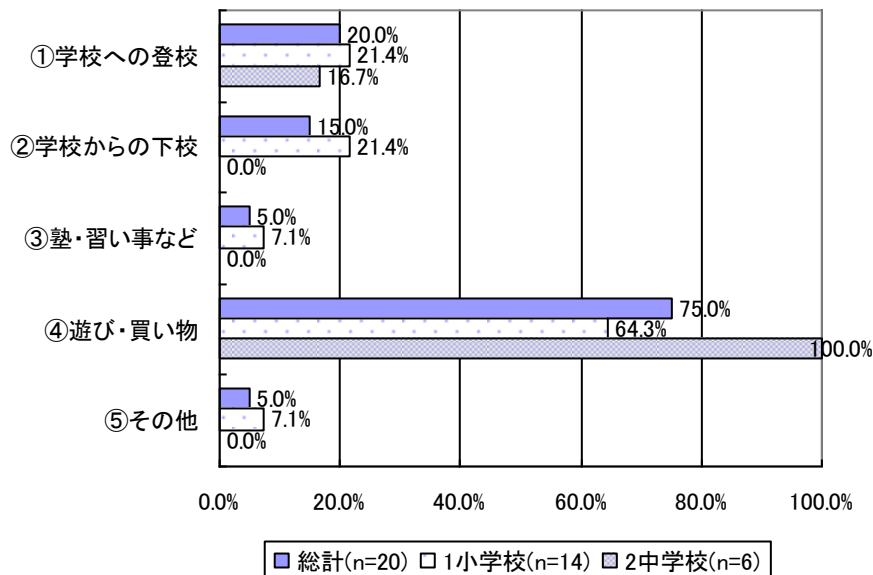
問3. 路線バスを利用しない理由(総計)



4) 路線バスの利用目的

- ・ 路線バスの利用目的は、「④遊び・買い物」が 75.0%と最も高く、次いで「①学校への登校」が 20.0%、「②学校からの下校」が 15.0%となっている。

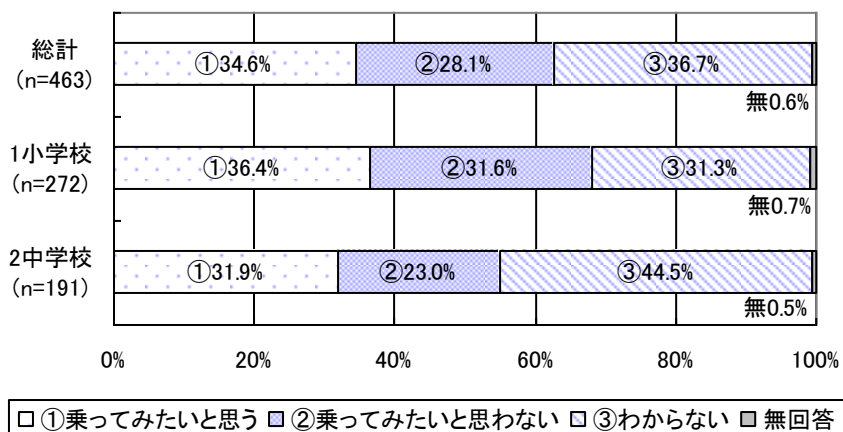
問4. 路線バスを利用していく場所



5) 路線バスの利用意向

- ・ 今後の路線バスの利用意向は、「①乗ってみたいと思う」が 34.6%、「②乗ってみたいと思わない」が 28.1%、「③わからない」が 36.7%となっている。

問5. 路線バスの利用意向/小中学校別



6) 自由記述のまとめ ((カッコ) 内の数字は意見の数)

●運賃に関する意見

- ・ 運賃を安くしてほしい (65)
- ・ 無料 (35)
- ・ 糸満市内 150 円以下 (5)
- ・ 一か月 1000 円乗り放題 (2)
- ・ 3 区間まで無料 (1)
- ・ 糸満-那覇 500 円程度 (1)

●設備に関する意見

- ・ 二階立てバス (32)
- ・ 座席が多い・広い (29)
- ・ エアコンが効いている (27)
- ・ BGM 付 (26)
- ・ 揺れない (酔わない) (24)
- ・ テレビ付 (23)
- ・ 座り心地のいい座席 (17)
- ・ エコなバス (8)
- ・ 段差を低くして乗り降りしやすい (7)
- ・ 明るいバス (4)
- ・ バスに自転車を持ち込める (1)
- ・ 大きい荷物が入るバス (1)

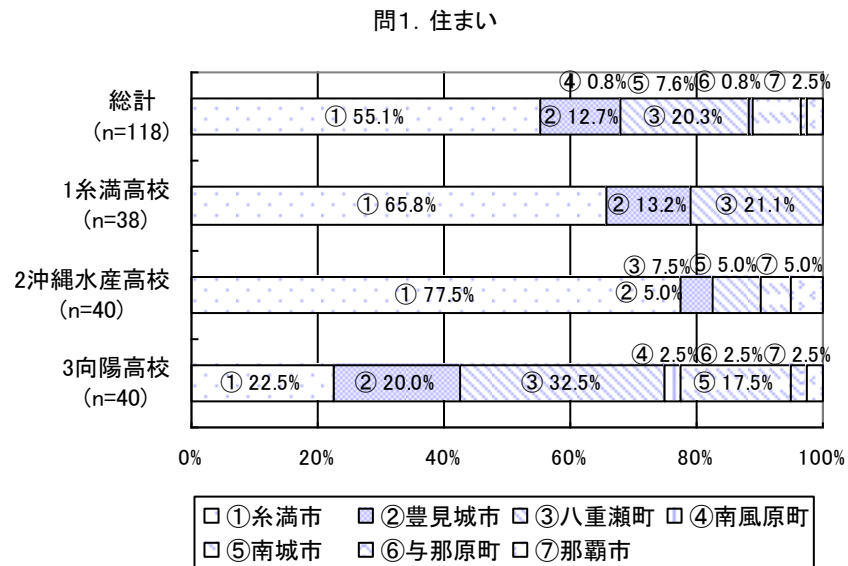
●サービス面に関する意見

- ・清潔（49）
- ・食べ物・飲み物がでる（24）
- ・運転手が親切（23）
- ・時刻・路線が分かりやすい（11）
- ・バス停以外の場所で乗車、停車できる（7）
- ・バス停の増設、バスの増便（6）

(4) 高校生アンケート

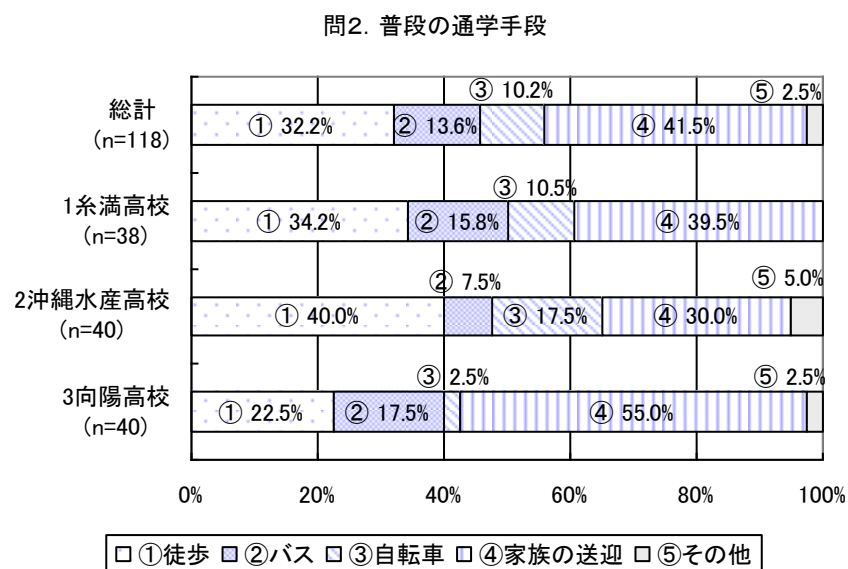
1) 住まい

- ・住まいは、「①糸満市」が55.1%と最も高い。次いで「③八重瀬町」が20.3%、「②豊見城市」が12.7%となっている。



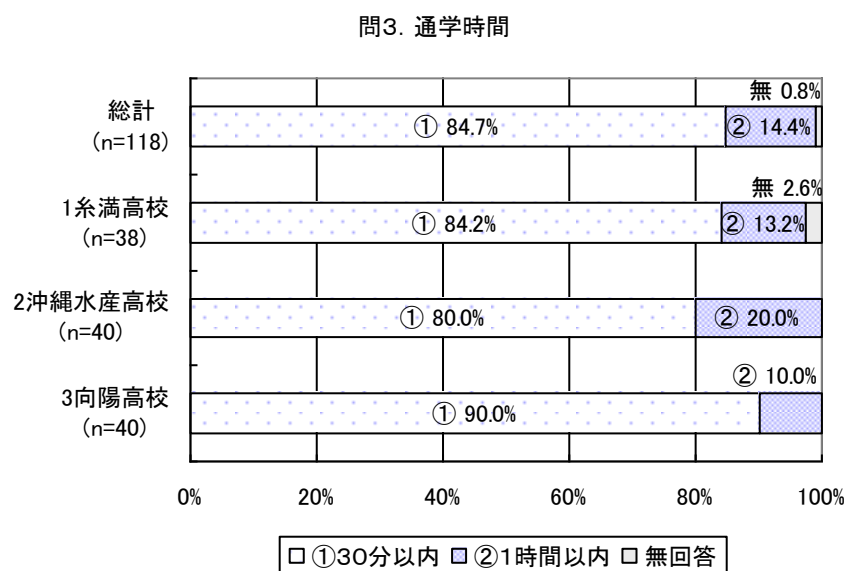
2) 普段の通学手段

- ・普段の通学手段は、「④家族の送迎」が41.5%と最も高い。次いで「①徒歩」が32.2%、「②バス」が13.6%となっている。



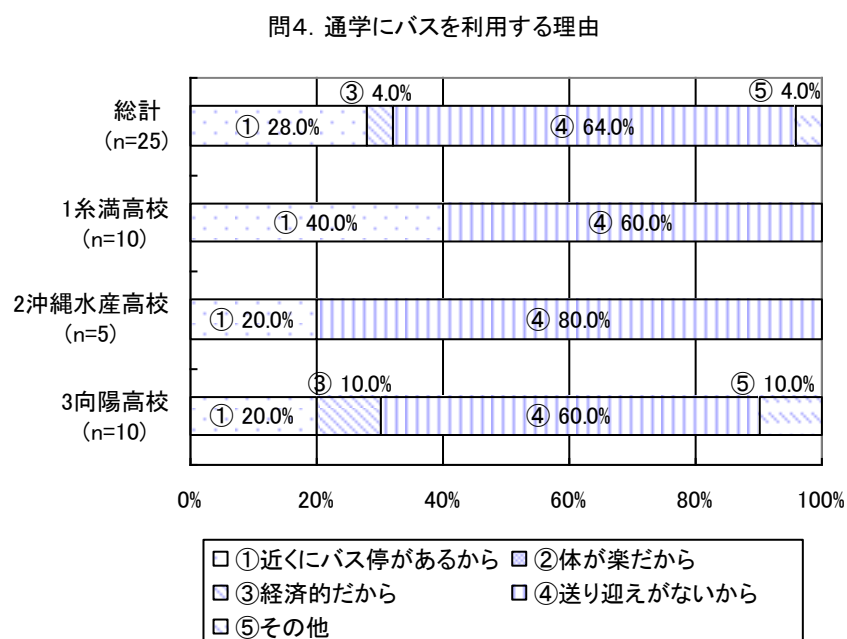
3) おおよその通学時間

- ・おおよその通学時間は、「① 30分以内」が 84.7%と最も高い。次いで「② 1時間以内」が 14.4%となっている。



4) 通学にバスを利用する理由（通学にバスを利用している方のみ回答）

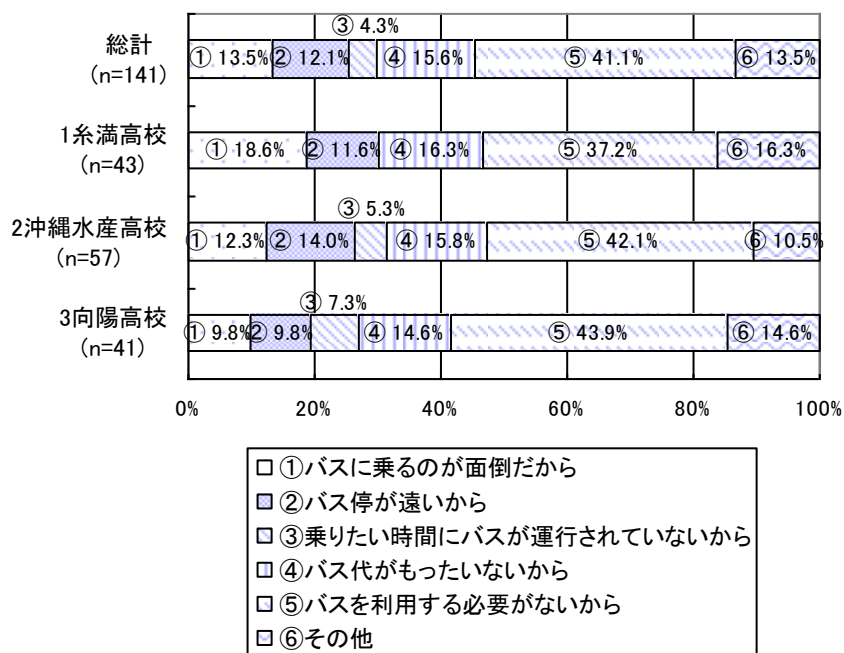
- ・通学にバスを利用する理由は「④送り迎えがないから」が 64.0%と最も高い。次いで「①近くにバス停があるから」が 28.0%となっている。



5) 通学にバスを利用しない理由（通学にバスを利用していない方のみ回答）

- ・通学にバスを利用しない理由は、「⑤バスを利用する必要がないから」が 41.1%と最も高い。次いで「④バス代がもったいないから」が 15.6%、「①バスに乗るのが面倒だから」が 13.5%となっている。

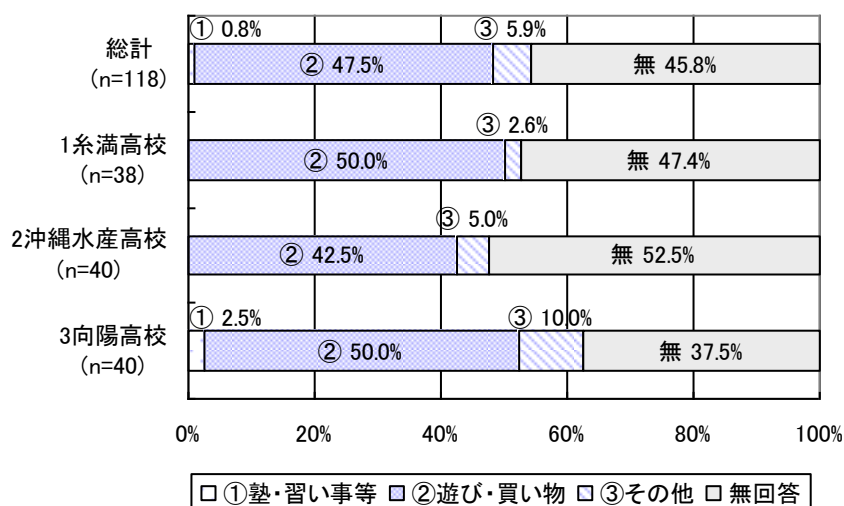
問5. 通学にバスを利用しない理由



6) 通学以外のバス利用

- ・通学以外のバス利用は、「②遊び・買い物」が 47.5%と最も高い。次いで「無回答」が 45.8%となっており、普段バスを利用していないと考えられる。

問6. 通学以外のバス利用



7) 自由記述のまとめ（(カッコ) 内の数字は意見の数）

● 運行数に関する記述

- ・ラッシュ時の便の増加（8）
- ・増便希望（7）
- ・81 番のバスの増加（4）
- ・土日の運行の増加（2）
- ・豊見城から向陽までのバスの増加（1）
- ・午後の百名向けバスの増加（1）
- ・港川行のバスの増加（1）
- ・向陽高校→沖縄水産（81 番）と 82 番の増加（1）
- ・西崎行のバスを増やしてほしい（1）

● 運行ルートに関する記述

- ・東風平から西崎行のバスを希望（1）
- ・豊見城団地から向陽行のバスを希望（1）
- ・大里行のバスを希望（1）
- ・与那原行のバスを希望（1）
- ・東風平へのバスは充実している（1）
- ・豊見城行のバスを希望（1）
- ・豊見城中学校付近から向陽高校行きのバスを希望（1）

● 設備面に関する記述

- ・バス停の増設（4）
 - ・時刻表が汚い（4）
 - ・座席数の増加（2）
 - ・ネットで運行状況の確認ができるようにしてほしい（2）
 - ・バスに空調設備を備えてほしい（1）
 - ・優先席の確保（1）
 - ・携帯電話禁止などのマナーの放送を希望（1）
 - ・車内を明るくしてほしい（1）
 - ・阿波根にバス停設置希望（1）
 - ・家の近くにバス停設置希望（1）
 - ・乗り口を広くしてほしい（1）
 - ・向陽高校の学生が利用する時間帯は大型のバスを希望（1）
 - ・バスのテロップ表示が見にくい（1）
 - ・退屈にならないような車内設備を希望（1）
 - ・バス専用通路を作る（2）
-

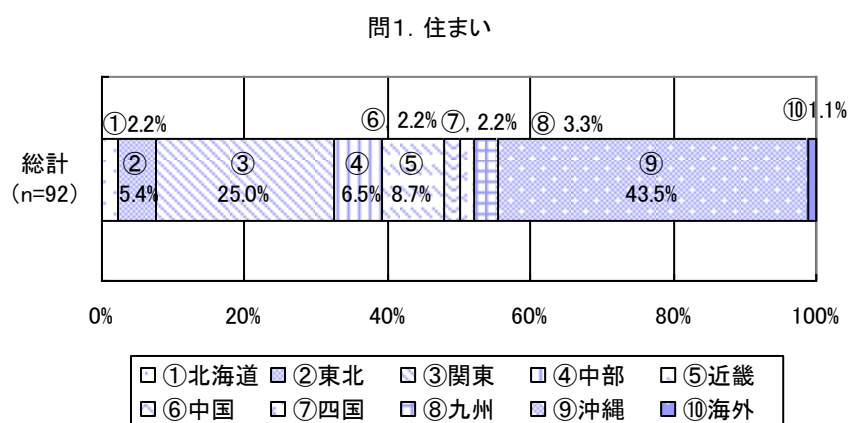
● バスの運行形態に関する記述

- ・時間の正確さ (13)
- ・バス賃を安くしてほしい (9)
- ・バスの運転手の対応が悪い (6)
- ・安全性 (5)
- ・揺れる (3)
- ・バス停に止まらないことがある (2)
- ・那覇まで 500 円は高い (1)
- ・ストライキするな (1)
- ・定期券を買いやすくしてほしい (1)
- ・降りる場所に困る (1)
- ・始発で定刻より早く出発する (1)
- ・座ってないのに出発する (1)
- ・バスの乗り降りに声をかけてもらえるのがありがたい (1)

(5) 観光客アンケート

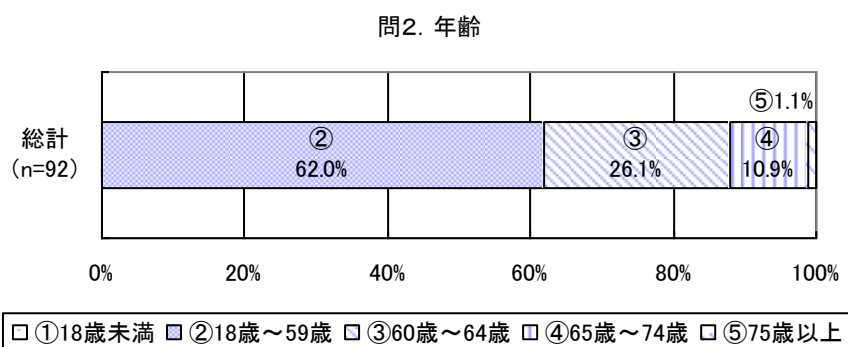
1) 住まい

- 回答者の住まいは、「⑨沖縄」が43.5%最も高く、次いで「③関東」が25.0%、「⑤近畿」が8.7%となっている。



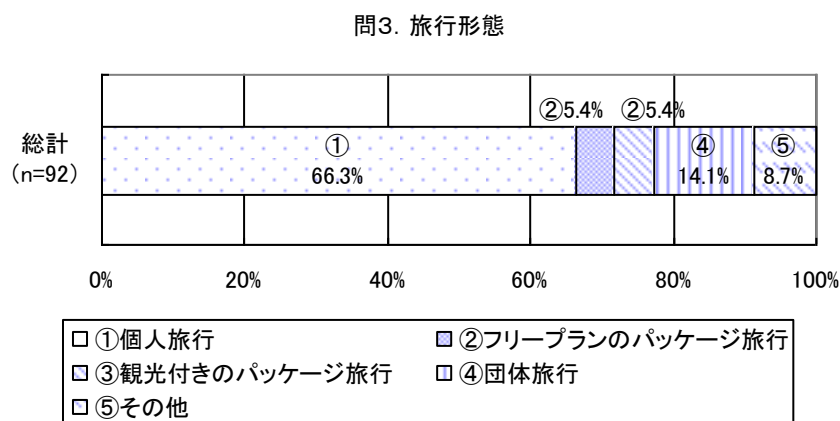
2) 年齢

- 回答者の年齢は、「②18歳～59歳」が62.0%と最も高く、次いで「③60歳～64歳」が26.1%となっている。



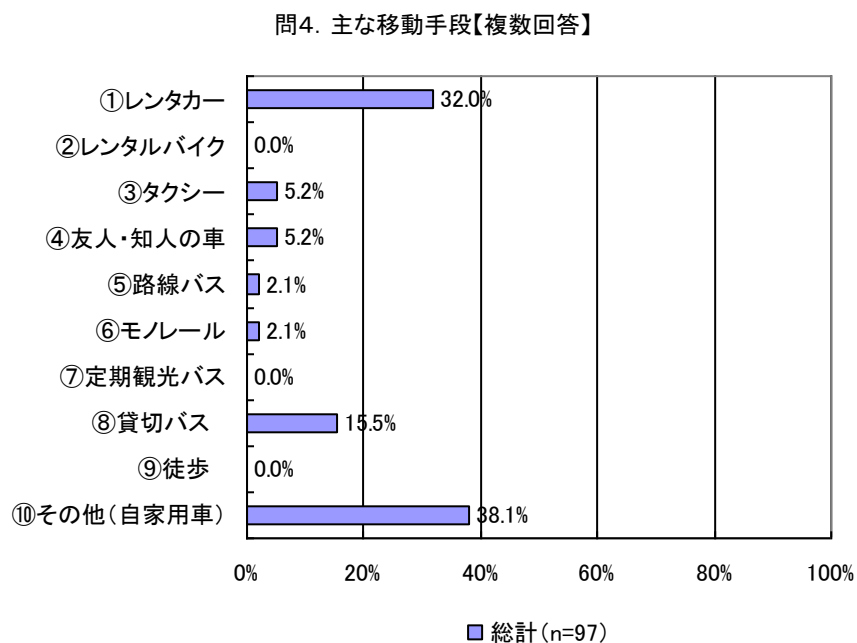
3) 旅行形態

- ・ 回答者の旅行形態は、「①個人旅行」が 66.3%、「④団体旅行」が 14.1%となっている。



4) 主な移動手段【複数回答】

- ・ 「①レンタカー」が 32.0%と半数以上を占めている。次いで、「⑧貸切バス」が 15.5%となっている。

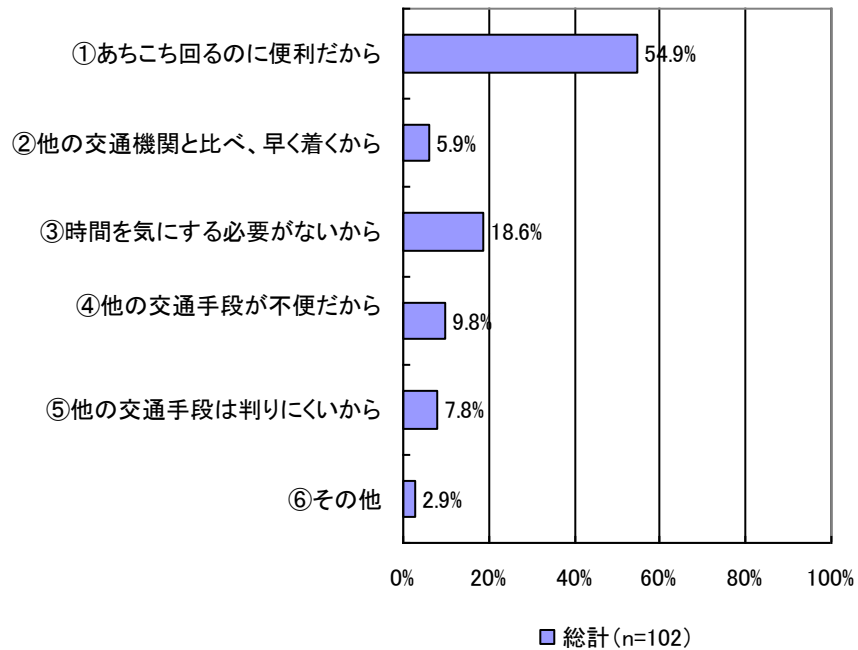


5) 車等を利用する理由【複数回答】

(「レンタカー」「レンタルバイク」「タクシー」「友人・知人の車」を利用する人のみ回答)

- ・ 車等を利用する理由は、「①あちこち回るのに便利だから」が 54.9%と最も多い。次いで、「③時間を気にする必要がないから」が 18.6%となっている。

問5. 車等を利用する理由【複数回答】

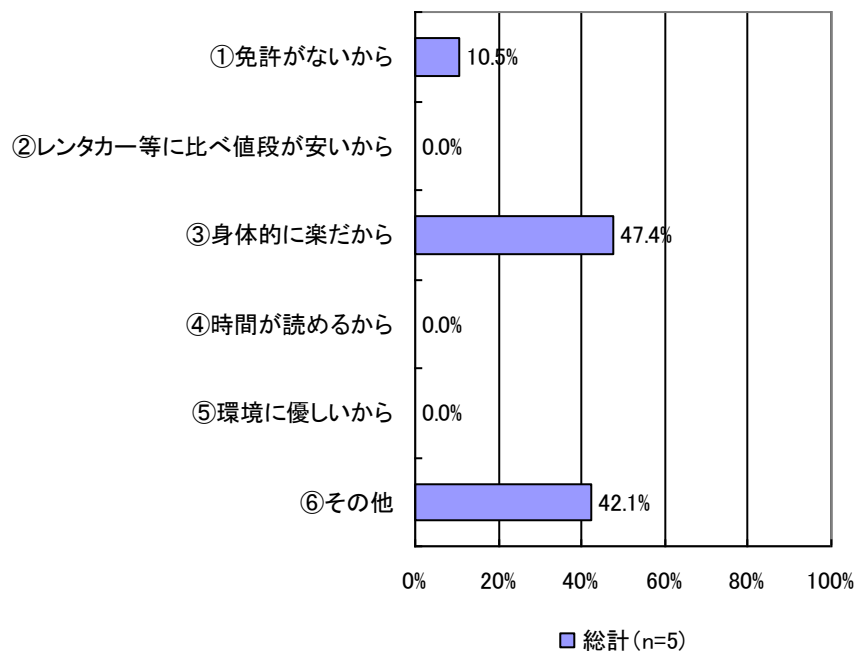


6) 車等を利用しない理由【複数回答】

(「レンタカー」「レンタルバイク」「タクシー」「友人・知人の車」を利用しない人のみ回答)

- ・ 車等を利用しない理由は、「④身体的に楽だから」が 47.4%と最も多い。

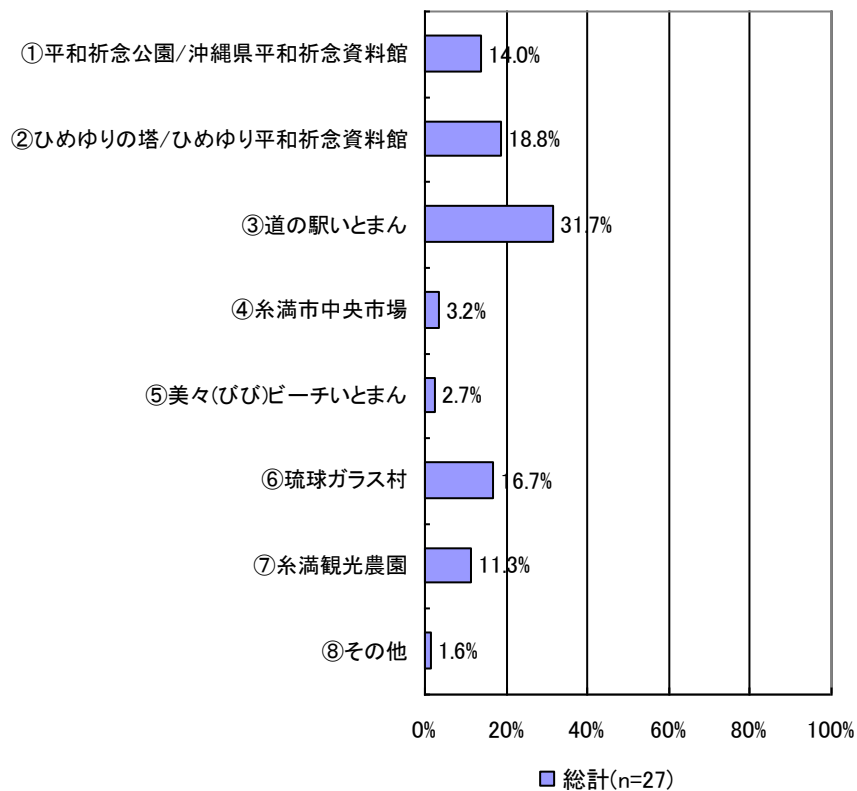
問6. 車等を利用しない理由【複数回答】



7) 旅行の目的地（糸満市内）【複数回答】

- 旅行の目的地は、「③道の駅いとまん」が 31.7%と最も高く、次いで「②ひめゆりの塔/ひめゆり平和祈念資料館」が 18.8%、「①平和祈念公園/沖縄県平和祈念資料館」が 14.0%となっている。

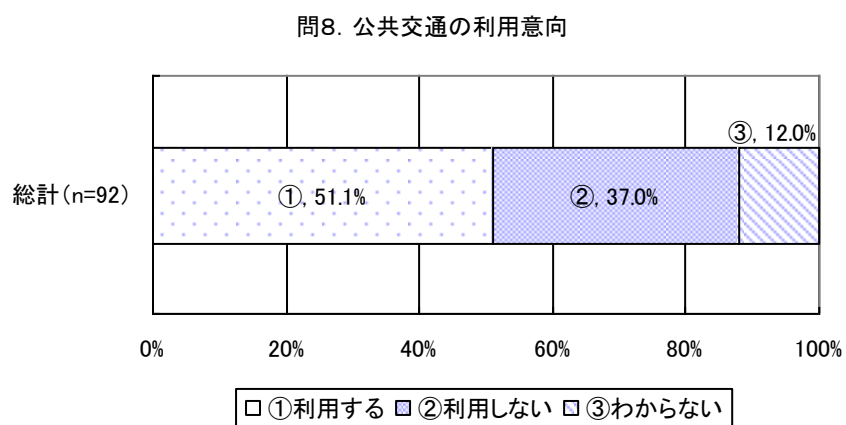
問7. 旅行の目的地(糸満市内)【複数回答】



「琉球ガラス村」「道の駅いとまん」「糸満観光農園」で調査を実施

8) 公共交通の利用意向

- 旅行の目的地である観光地を通過する公共交通があった場合の利用意向は、「①利用する」が 51.1%、「②利用しない」が 37.0%となっている。



9) 自由記述のまとめ（(カッコ) 内の数字は意見の数）

●路線バスに関する意見

- ・バスルート、時刻表が分かりにくい（4）
- ・バス路線を拡充して欲しい（3）
- ・バスは不規則、時間が読めない（3）
- ・バス本数が少ない（1）
- ・料金が高い（1）
- ・北部～南部のバスツアーが少ない（2）
- ・施設の近くにバス停が欲しい（1）
- ・バスとレンタサイクルのセット希望（1）
- ・ゆいレールと一体としたバスセンターの整備をしてほしい（1）

●ゆいレールに関する意見

- ・ゆいレールを延長して欲しい（4）
- ・ゆいレールが混んでいる（2）

●道路整備等に関する意見

- ・道路工事が多い（3）
- ・バイパスが開通して便利になった（2）
- ・渋滞が多い（2）
- ・狭い道路がある（2）
- ・案内板を増やしてほしい（2）
- ・駐車場や道が分かりにくい（1）
- ・新しくできたバイパスが混んでいるので不便である（1）

●その他の意見

- ・交通マナーが悪い（3）
 - ・車についているナビが使いにくい、古い（2）
 - ・タバコの吸い殻が目立つ（1）
-